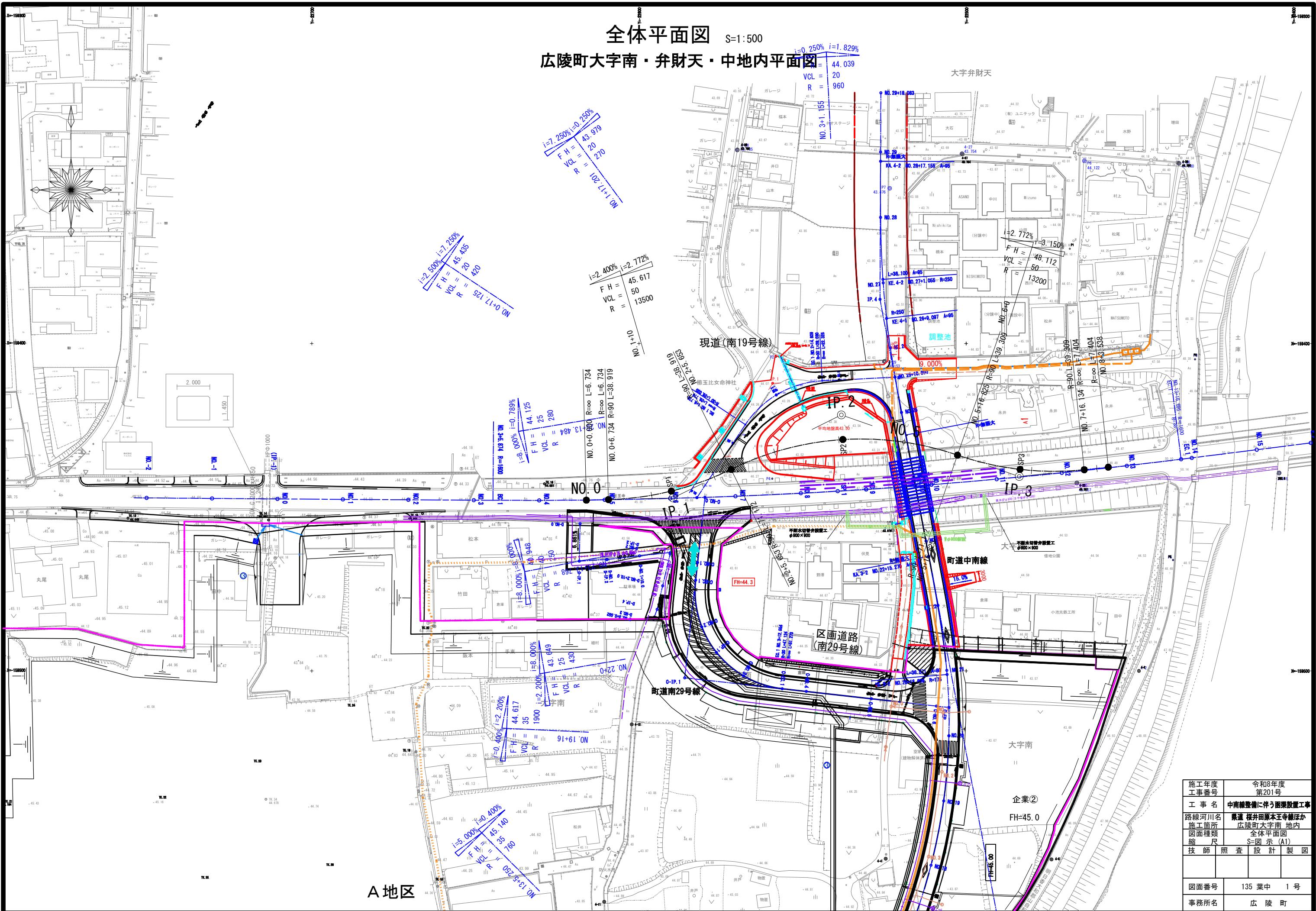


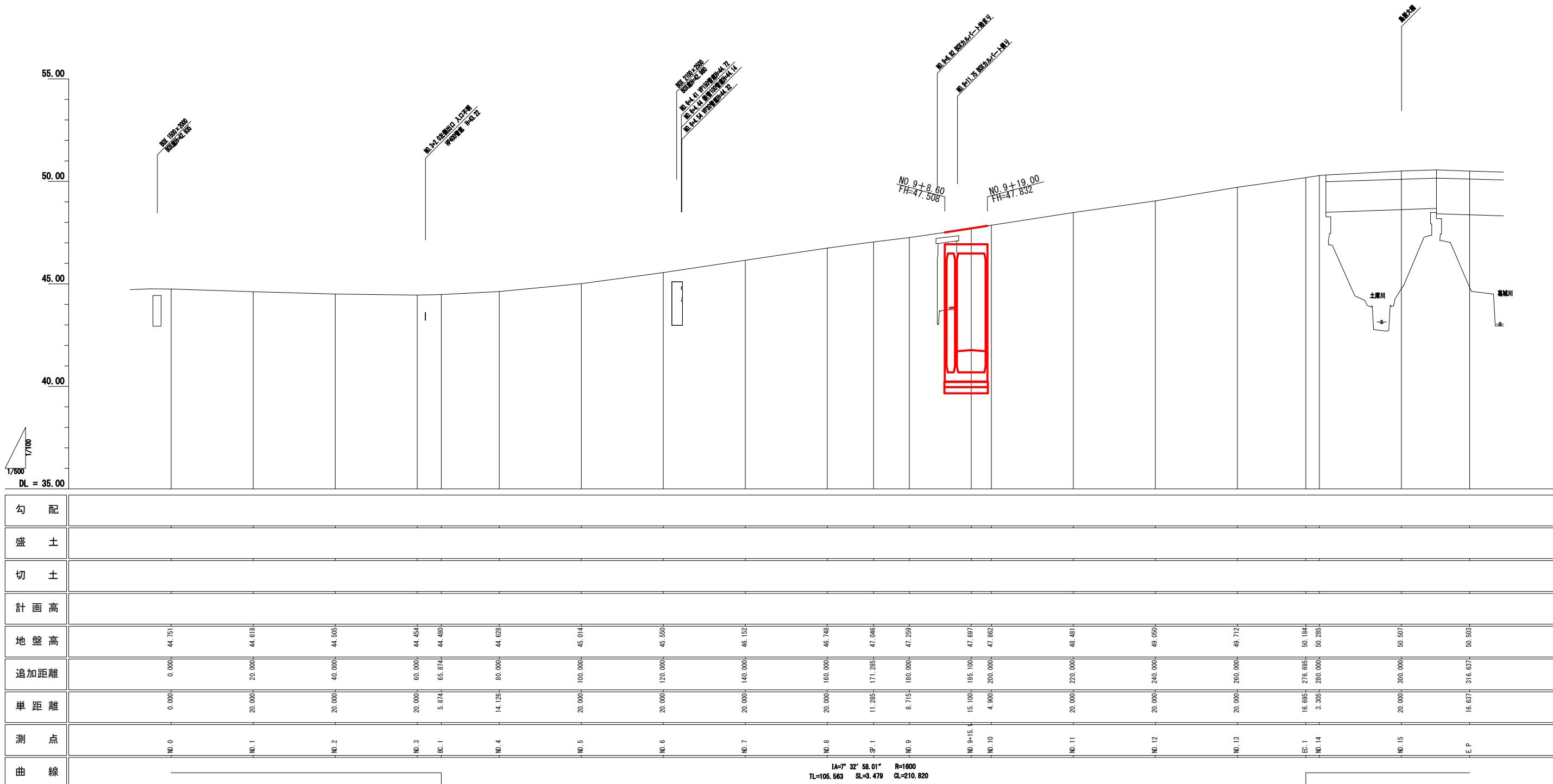
図面目録

中南線整備に伴う橋梁詳細設計業務委託(Ⅰ期施工)

図番	図面名称	図番	図面名称
《全体計画》		《撤去工》	
1	全体平面図(参考)	52	県道撤去平面図
2	県道縦断図(参考)	53	既設上部工構造図
3 ~ 7	県道横断図(参考)(その1) ~ (その5)	54 ~ 60	既設下部工構造図(その1) ~ (その7)
8	町道中南線縦断図(参考)	61 ~ 62	既設上部工撤去計画図(その1) ~ (その2)
9 ~ 12	町道中南線横断図(参考)(その1) ~ (その4)		
		《仮設工》	
《ボックスカルバート工》		63	仮設道路平面図
13	全体一般図	64	仮橋一般図
14	ボックスカルバート割付図	65 ~ 71	仮橋縦断図(その1) ~ (その7)
15 ~ 16	地覆工詳細図(その1) ~ (その2)	72 ~ 75	仮橋横断図(その1) ~ (その4)
17	防護柵詳細図	76	覆工板配置図
18	落下物防止柵詳細図	77 ~ 84	上部工構造図(その1) ~ (その8)
19	防護柵割付図	85 ~ 91	仮締切部路面覆工詳細図(その1) ~ (その7)
		92 ~ 94	橋台構造図(その1) ~ (その3)
《県道復旧工》		95 ~ 96	橋台配筋図(その1) ~ (その2)
20	県道復旧平面図	97	杭座標図
21	県道南東側L型擁壁構造図	98 ~ 100	杭詳細図(その1) ~ (その3)
22 ~ 23	軽量盛土工横断図(その1) ~ (その2)	101 ~ 104	仮締切詳細図(その1) ~ (その4)
24	軽量盛土工コンクリート床版図	105 ~ 106	県水道管移設詳細図(その1) ~ (その2)
25	軽量盛土工展開図		
26 ~ 32	軽量盛土工壁面展開図(その1) ~ (その7)	《全体施工計画》	
33	町道L型擁壁割付図	107 ~ 135	施工順序図(その1) ~ (その29)
34	現場打ち詳細図		
35	県道部構造図		
《地盤改良工》			
36	地盤改良平面図(その1)		
37	地盤改良平面図(その2)		
38 ~ 42	地盤改良横断図(県道)(その1) ~ (その5)		
43 ~ 46	地盤改良横断図(町道)(その1) ~ (その4)		
47	地盤改良工正面展開図		
48	工事用道路縦断図		
49 ~ 51	工事用道路横断図(その1) ~ (その3)		

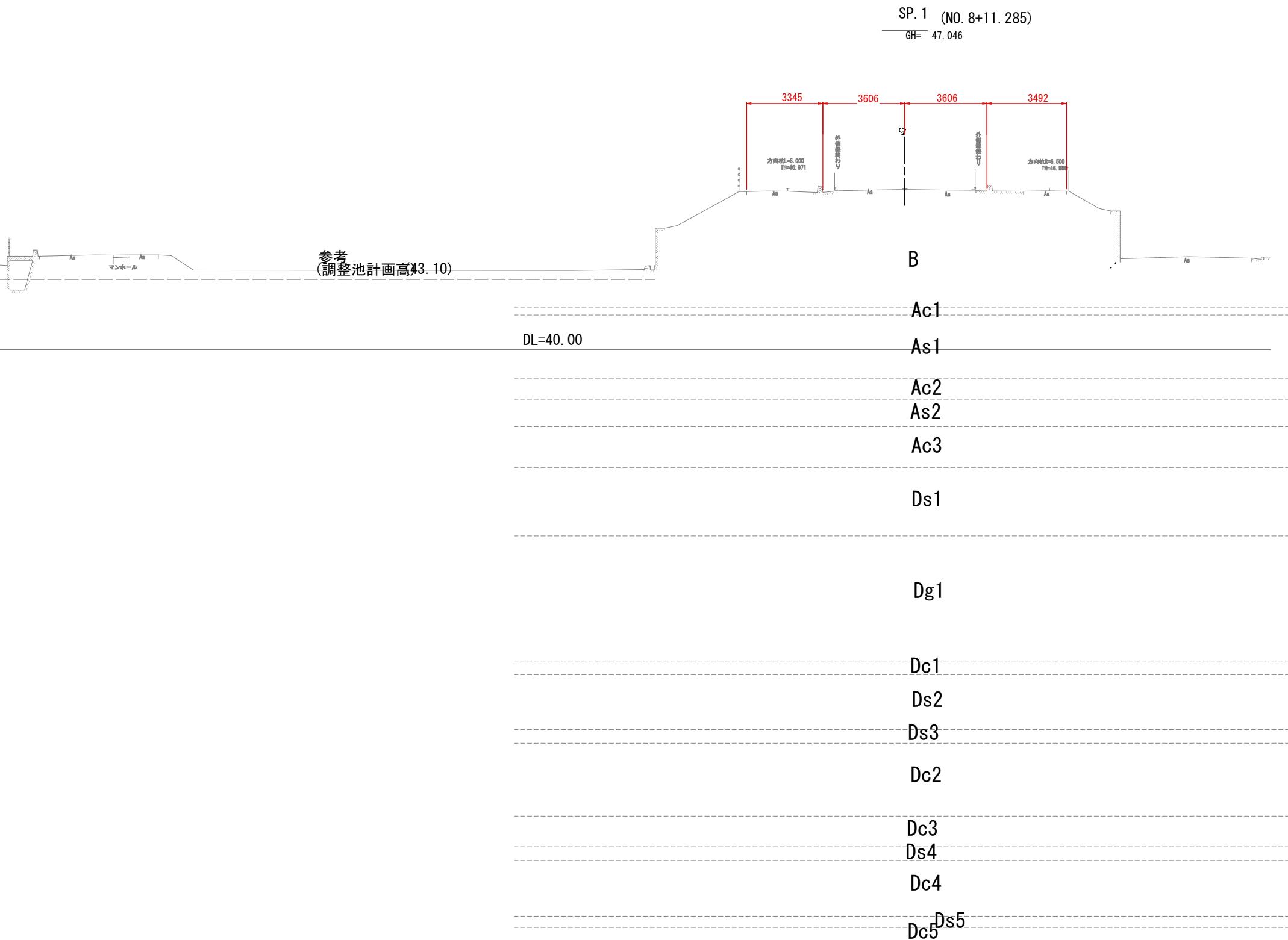


県道縦断図
V=1:100, H=1:500

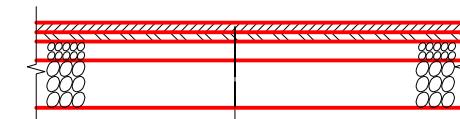


施工年度 工事番号	令和8年度 第201号	
工事名	中南縫整備に伴う函渠設置工事	
路線河川名	県道 桜井田原本王寺線ほか	
施工箇所	広陵町大字南 地内	
図面種類	県道縦断図	
縮尺	S=1:100	
技師	照査	設計
技師	照査	設計
図面番号	135 葉中 2号	
事務所名	広陵町	

県道横断図（その1）



アスファルト舗装
車道舗装 S=1:20



車道舗装
表層 : 再生密粒度アスコン t= 5cm
基層 : 再生粗粒度アスコン t= 5cm
上層路盤 : 再生粒度調整碎石 t=10cm
下層路盤 : 再生クラッシャーラン t=25cm

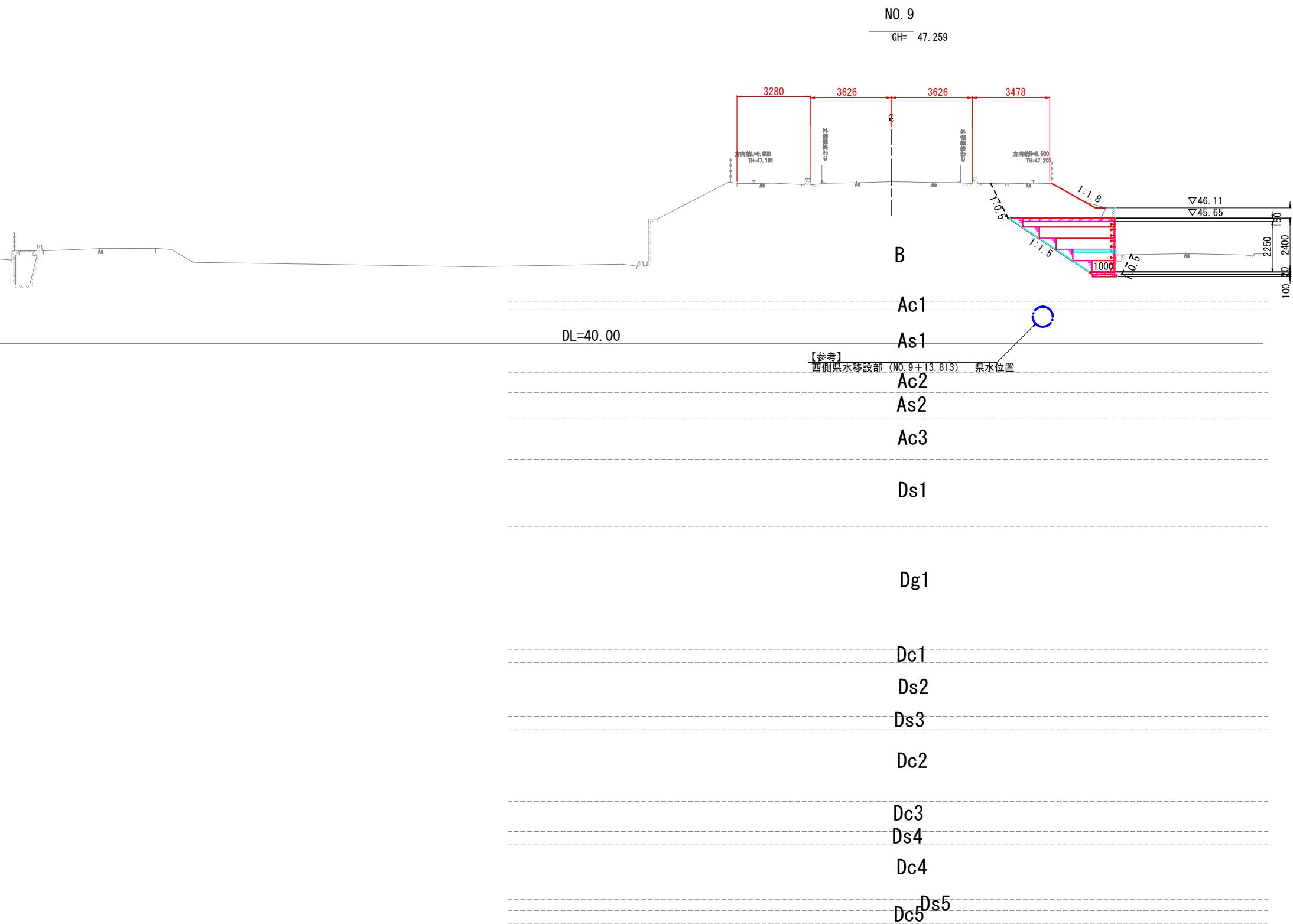
アスファルト舗装
歩道舗装 S=1:20



歩道舗装
表層 : 再生細粒度アスコン t= 4cm
路盤 : 再生クラッシャーラン t=10cm

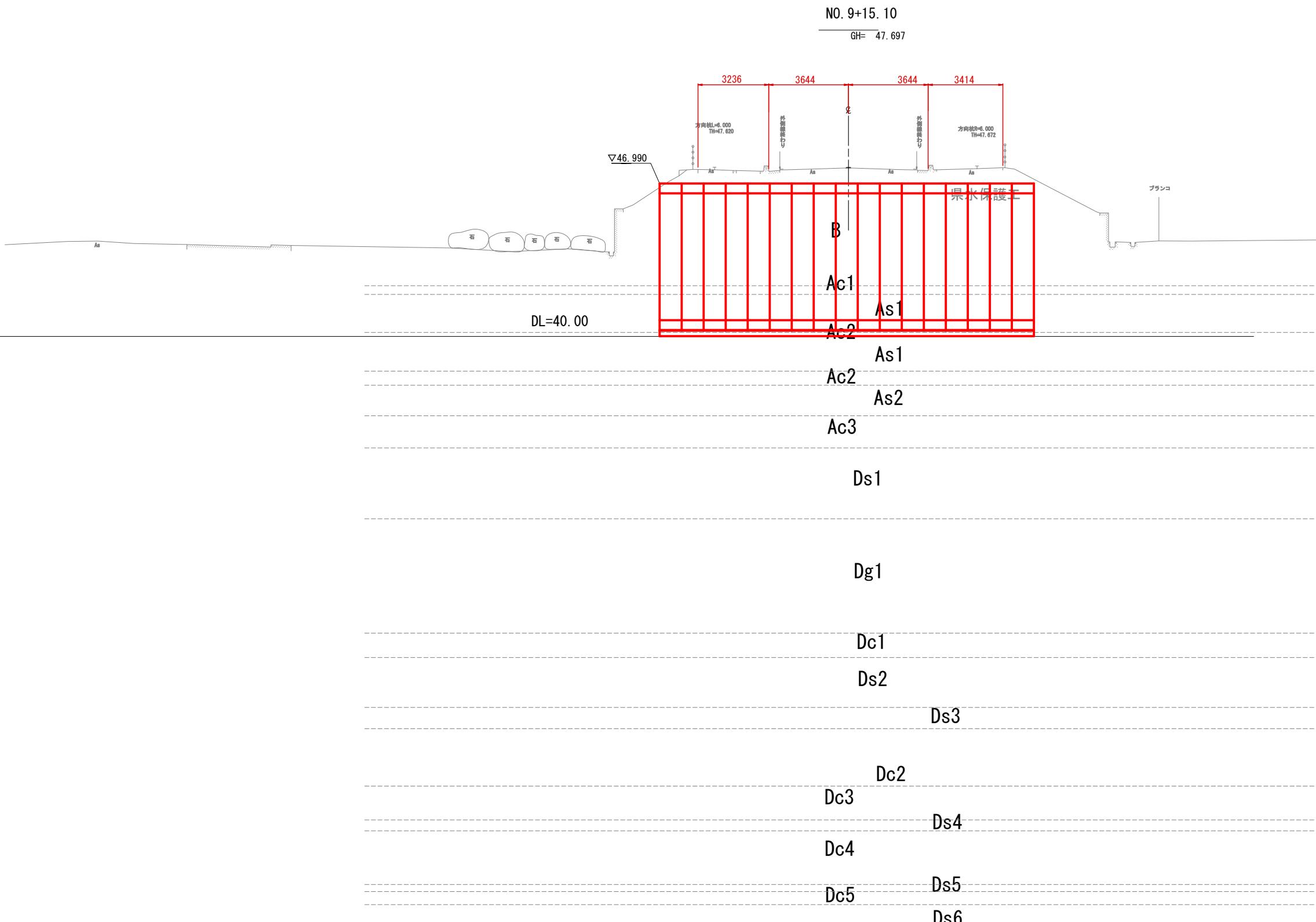
施工年度 工事番号	令和8年度 第201号
工事名	中南側整備に伴う函渠設置工事
路線河川名 施工箇所	県道 桜井田原本王寺線ほか 広陵町大字南 地内
図面種類	県道横断図（その1）
縮尺	S=1:100
技師	照査
設計	製図
図面番号	135 葉中 3号
事務所名	広陵町

県道横断図（その2）



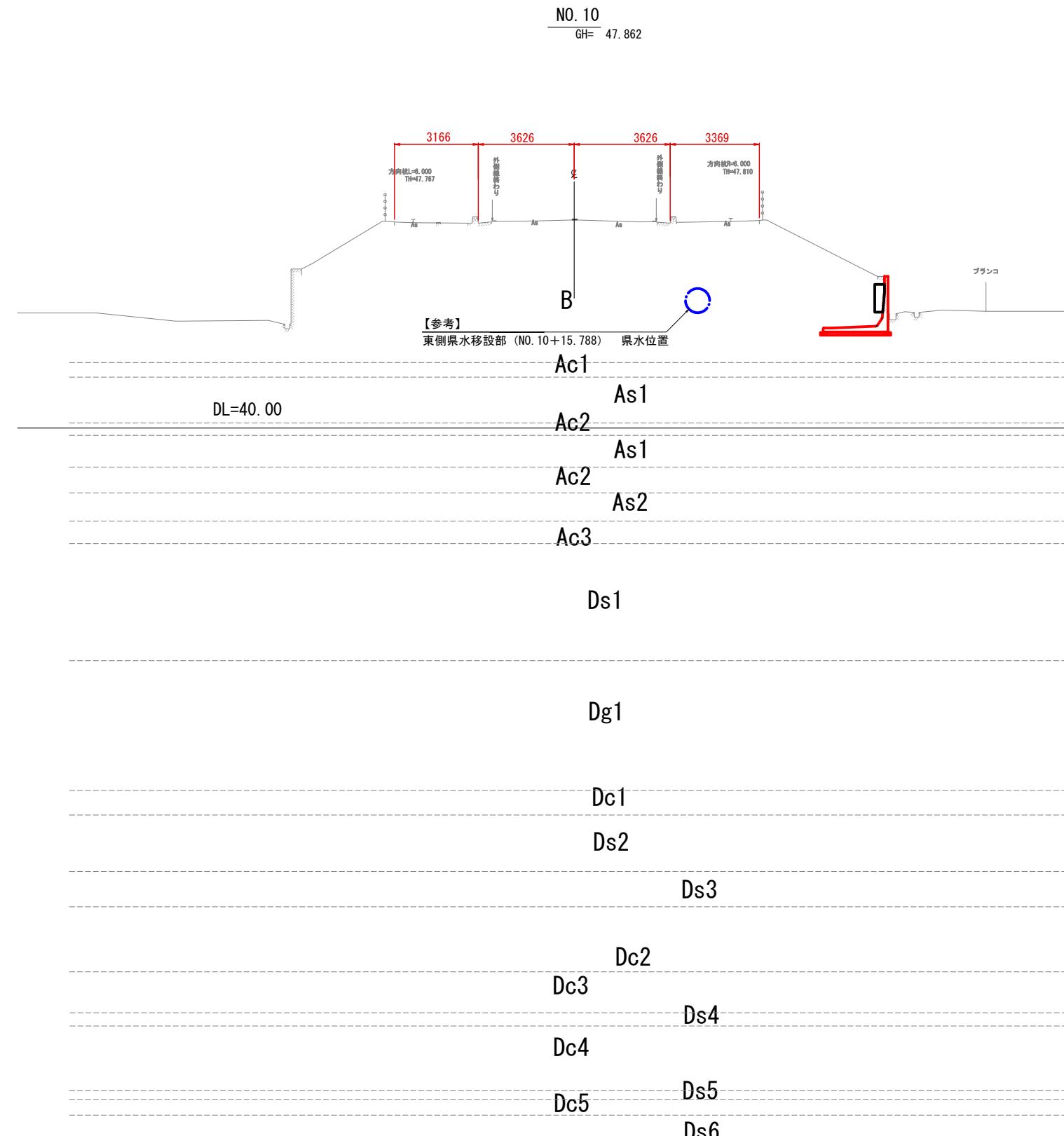
施工年度 工事番号	令和8年度 第201号
工事名	中南線整備に伴う函渠設置工事
路線河川名 施工箇所	県道 横井田原本王寺線ほか 広陵町大字南 地内
図面種類	県道横断図（その2）
縮 尺	S=1:100
技 師	照 査
	設 計
	製 図
図面番号	135 葉中 4 号
事務所名	広陵町

県道横断図（その3）



施工年度 工事番号	令和8年度 第201号
工事名	中南線整備に伴う箇渠設置工事
路線河川名	県道 桜井原本王寺線ほか
施工箇所	広陵町大字南 地内
図面種類	県道横断図（その3）
縮 尺	S=1:100
技 師	照 査
照 査	設 計
設 計	製 図
図面番号	135 葉中 5 号
事務所名	広陵町

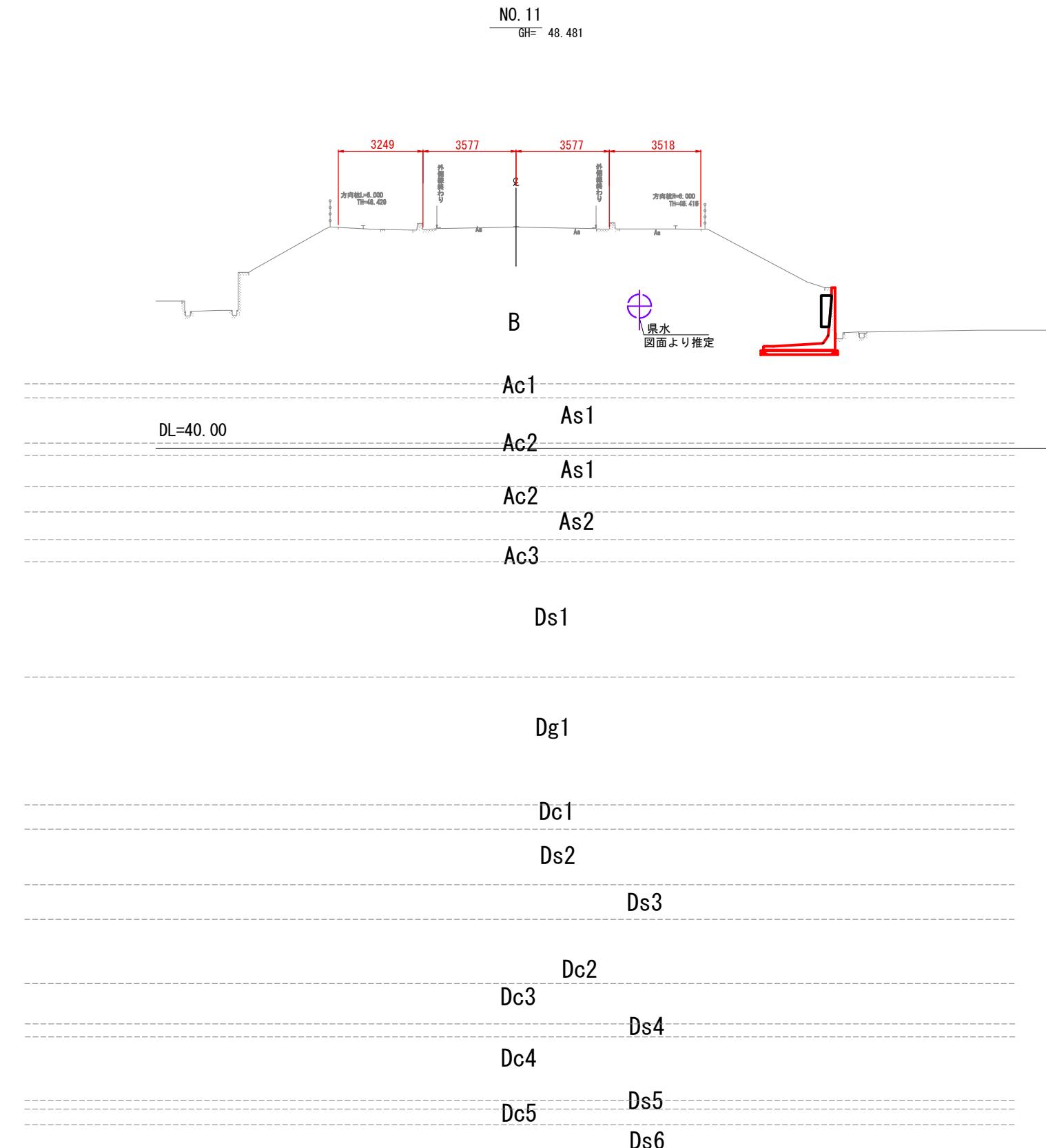
県道横断図（その4）



施工年度 工事番号	令和8年度 第201号		
工事名	中南線整備に伴う函渠設置工事		
路線河川名	県道 桜井原本王寺線ほか		
施工箇所	広陵町大字南 地内		
図面種類	県道横断図（その4）		
縮尺	S=1:100		
技師	照	査	設計
事務所名	広陵町		

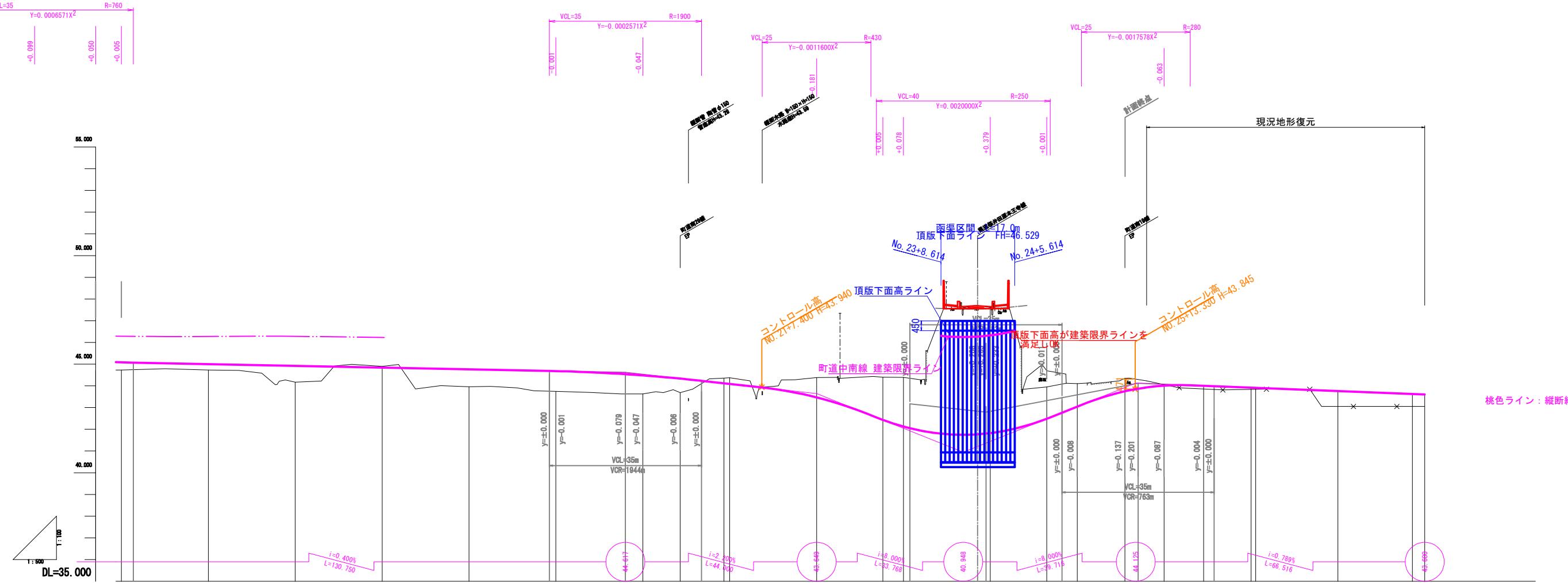
図面番号 135 葉中 6 号

県道横断図（その5）



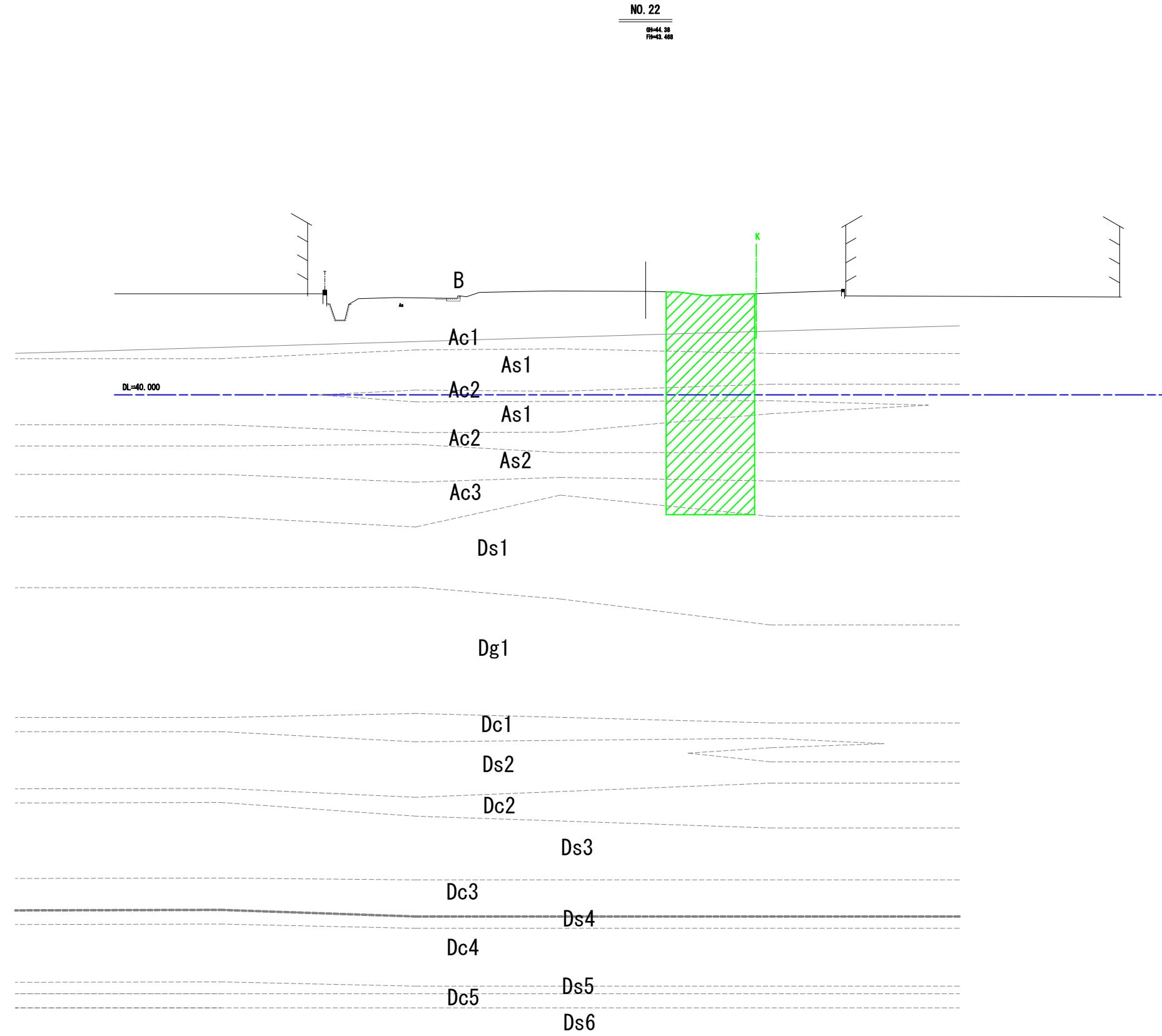
施工年度 工事番号	令和8年度 第201号
工事名	中南線整備に伴う函渠設置工事
路線河川名 施工箇所	県道 横井田原本王寺線ほか 広陵町大字南 地内
図面種類	県道横断図（その5）
縮尺	S=1:100
技師	照査
計	設計
製図	
図面番号	135 葉中 7号
事務所名	広陵町

町道中南線 縦断図



施工年度 工事番号	令和8年度 第201号
工事名	中南線整備に伴う函渠設置工事
路線河川名 施工箇所	県道 桜井田原本王寺線ほか 広陵町大字南 地内
図面種類	町道中南線 縦断図
縮尺	H:1/500 V:1/100
技師	照 設 計 製 図
図面番号	135 葉中 8号
事務所名	広陵町

町道中南線 横断図（その1）



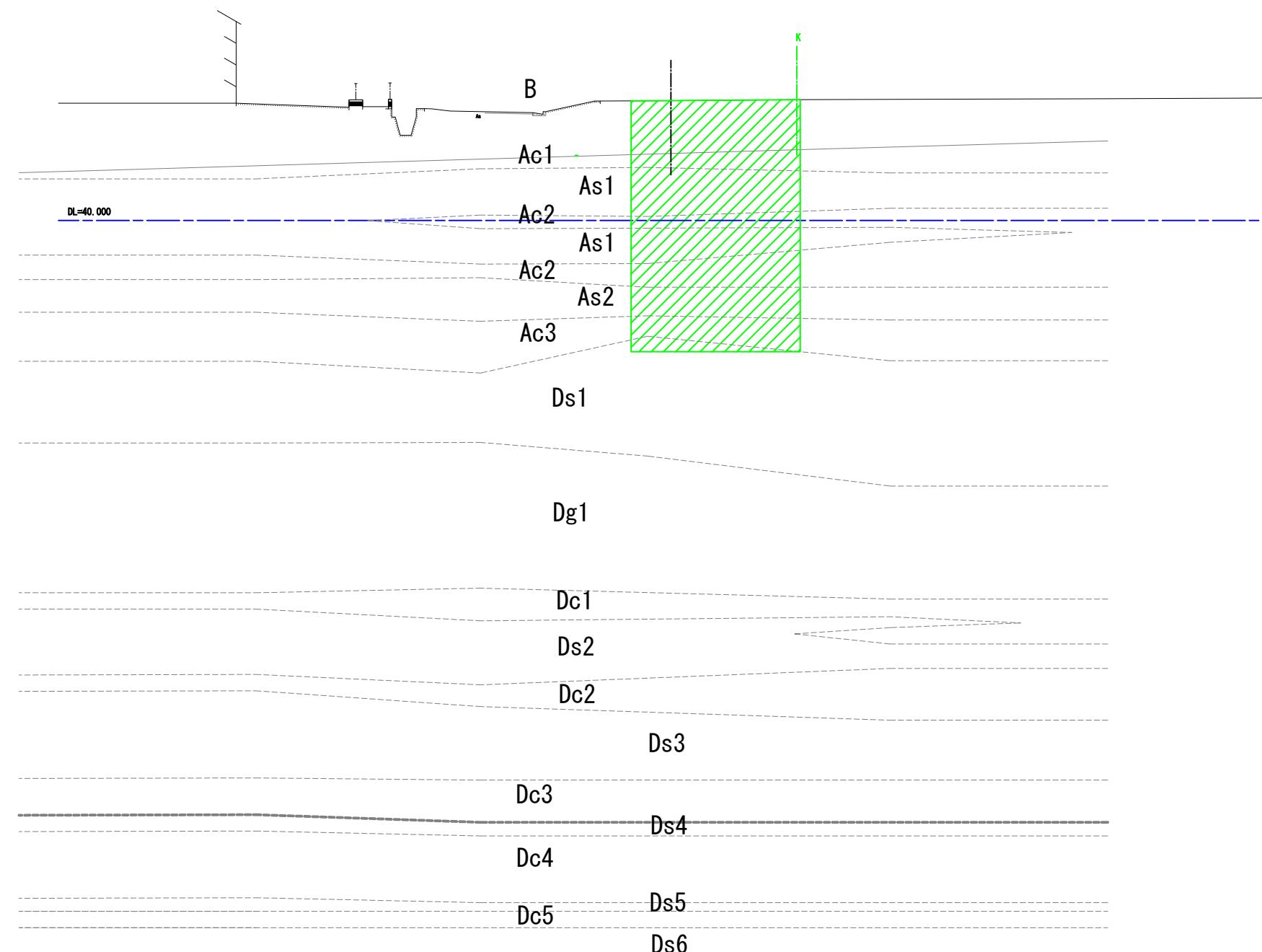
施工年度 工事番号	令和8年度 第201号		
工事名	中南線整備に伴う函渠設置工事		
路線河川名	県道 桜井田原本王寺線ほか		
施工箇所	広陵町大字南 地内		
図面種類	町道中南線 横断図（その1）		
縮尺	S=1:100		
技師	照査	設計	製図
図面番号	135	葉中	9号
事務所名	広陵町		

町道中南線 横断図（その2）

KA. 3-2

DL=44.40

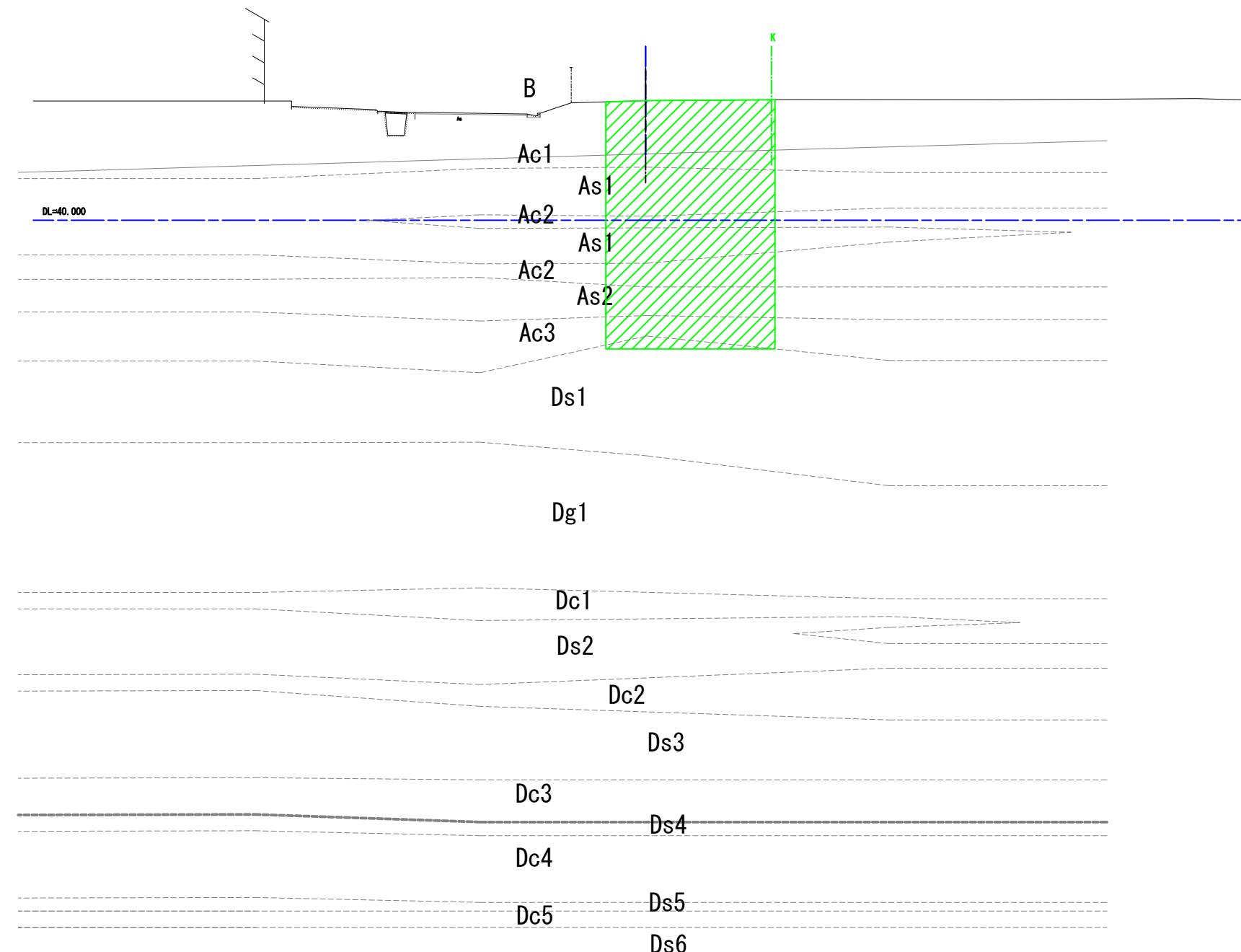
Fl=42.432



施工年度 工事番号	令和8年度 第201号
工事名	中南線整備に伴う函渠設置工事
路線河川名	県道 桜井原本王寺線ほか
施工箇所	広陵町大字南 地内
図面種類	町道中南線 横断図（その2）
縮尺	S=1:100
技師	照査
照査	設計
設計	製図
図面番号	135 葉中 10号
事務所名	広陵町

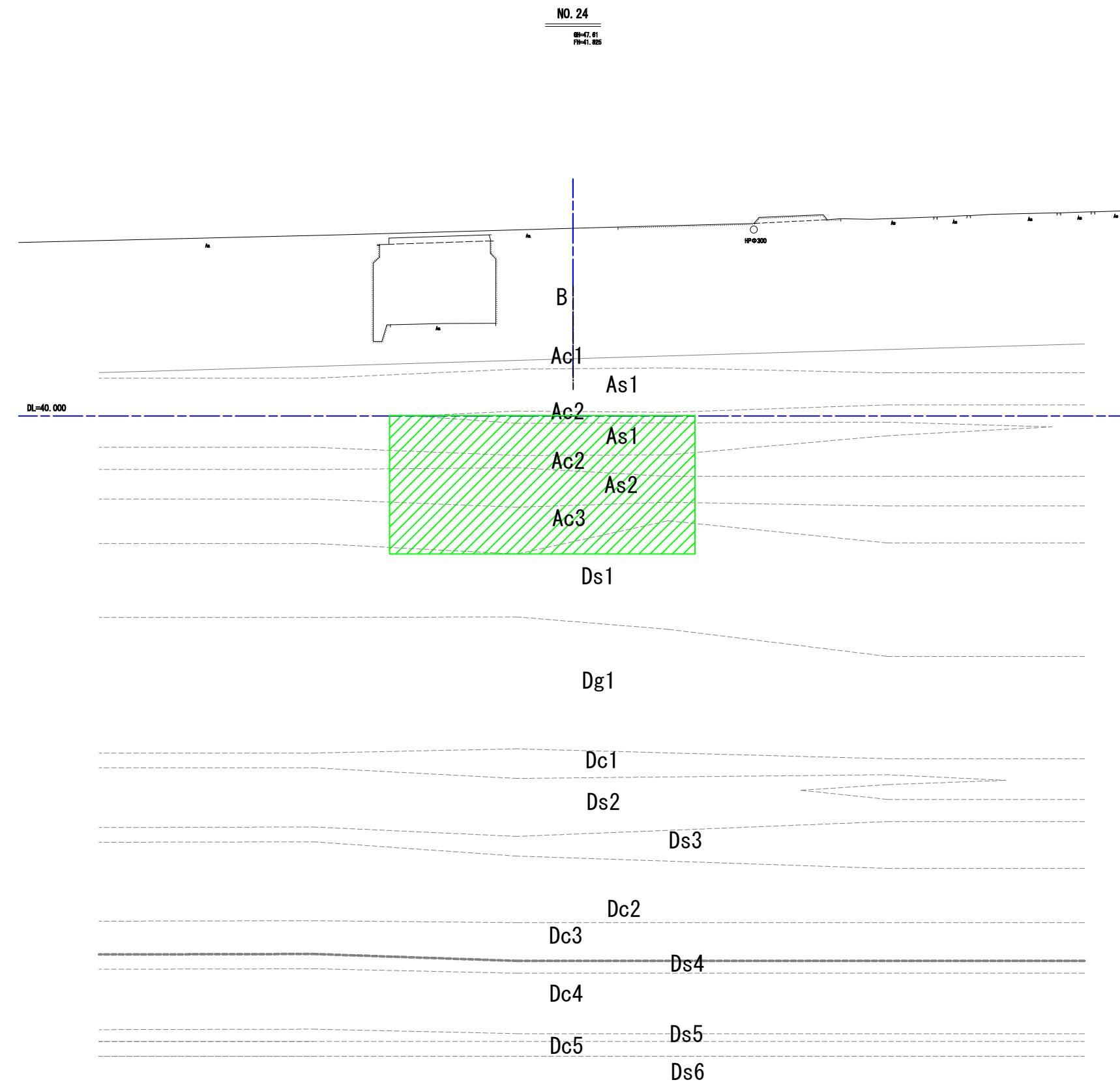
町道中南線 横断図（その3）

NO. 23
G=44.39
F=42.127



施工年度 工事番号	令和8年度 第201号		
工事名	中南線整備に伴う函渠設置工事		
路線河川名	県道 桜井原本王寺線ほか		
施工箇所	広陵町大字南 地内		
図面種類	町道中南線 横断図（その3）		
縮尺	S=1:100		
技師	照査	設計	製図
図面番号	135	葉中	11号
事務所名	広陵町		

町道中南線 横断図（その4）



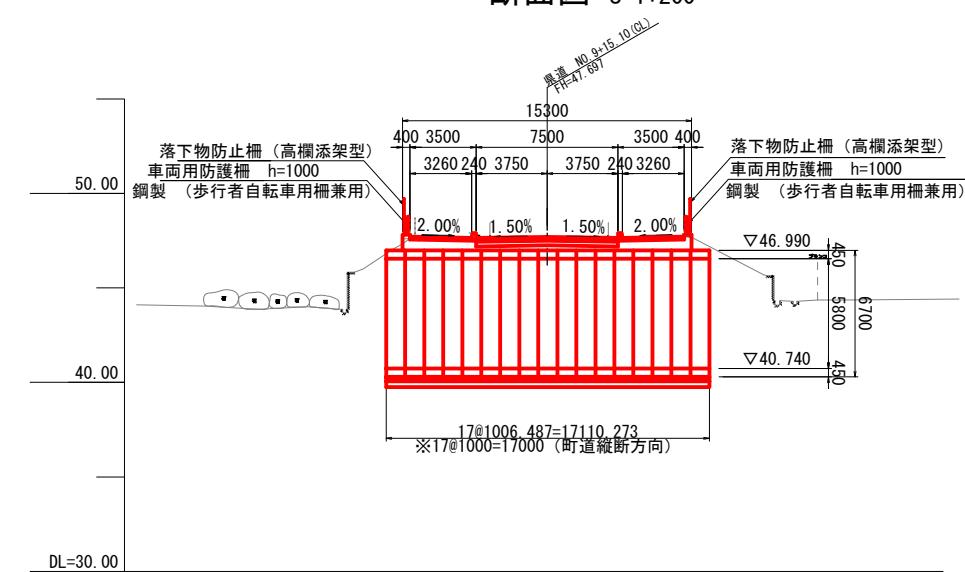
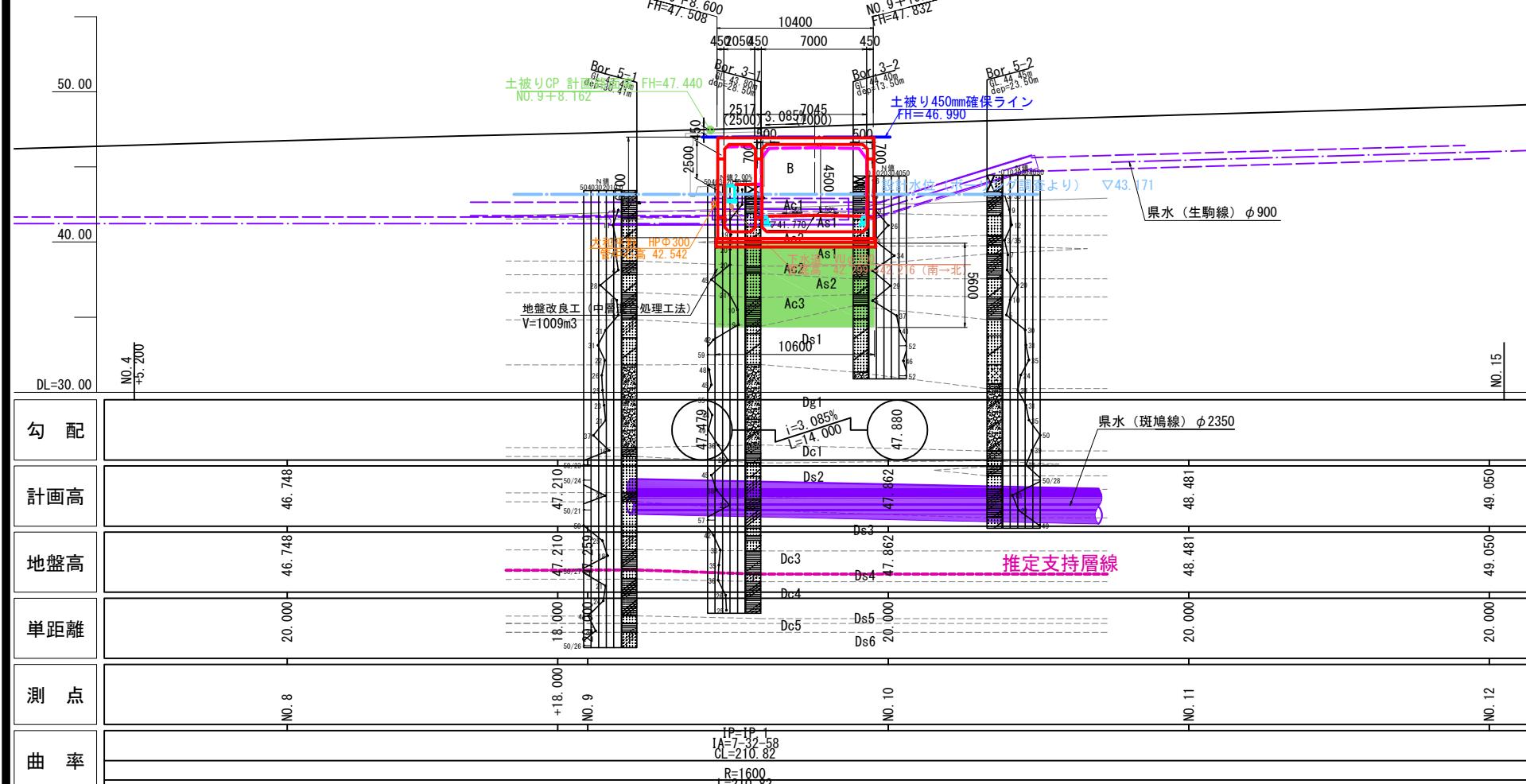
施工年度 工事番号	令和8年度 第201号
工事名	中南線整備に伴う函渠設置工事
路線河川名 施工箇所	県道 桜井田原本王寺線ほか 広陵町大字南 地内
図面種類	町道中南線 横断図（その4）
縮尺	S=1:100
技師	照査 設計 製図
図面番号	135 葉中 12 号
事務所名	広陵町

全体一般図

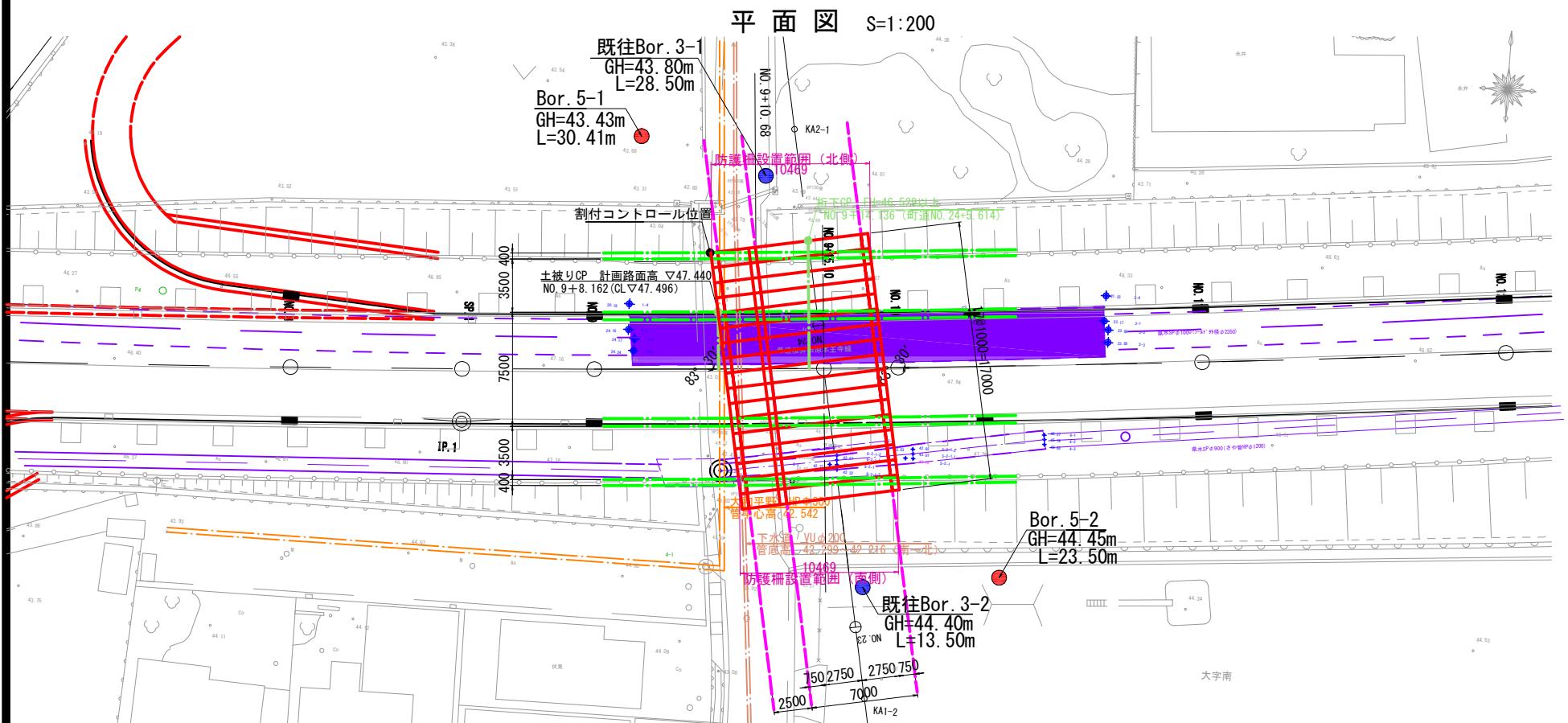
側面図 S=1:200

2連RCプレキャストボックスカルバート

町道No. 23+17. 156(県道横断部)



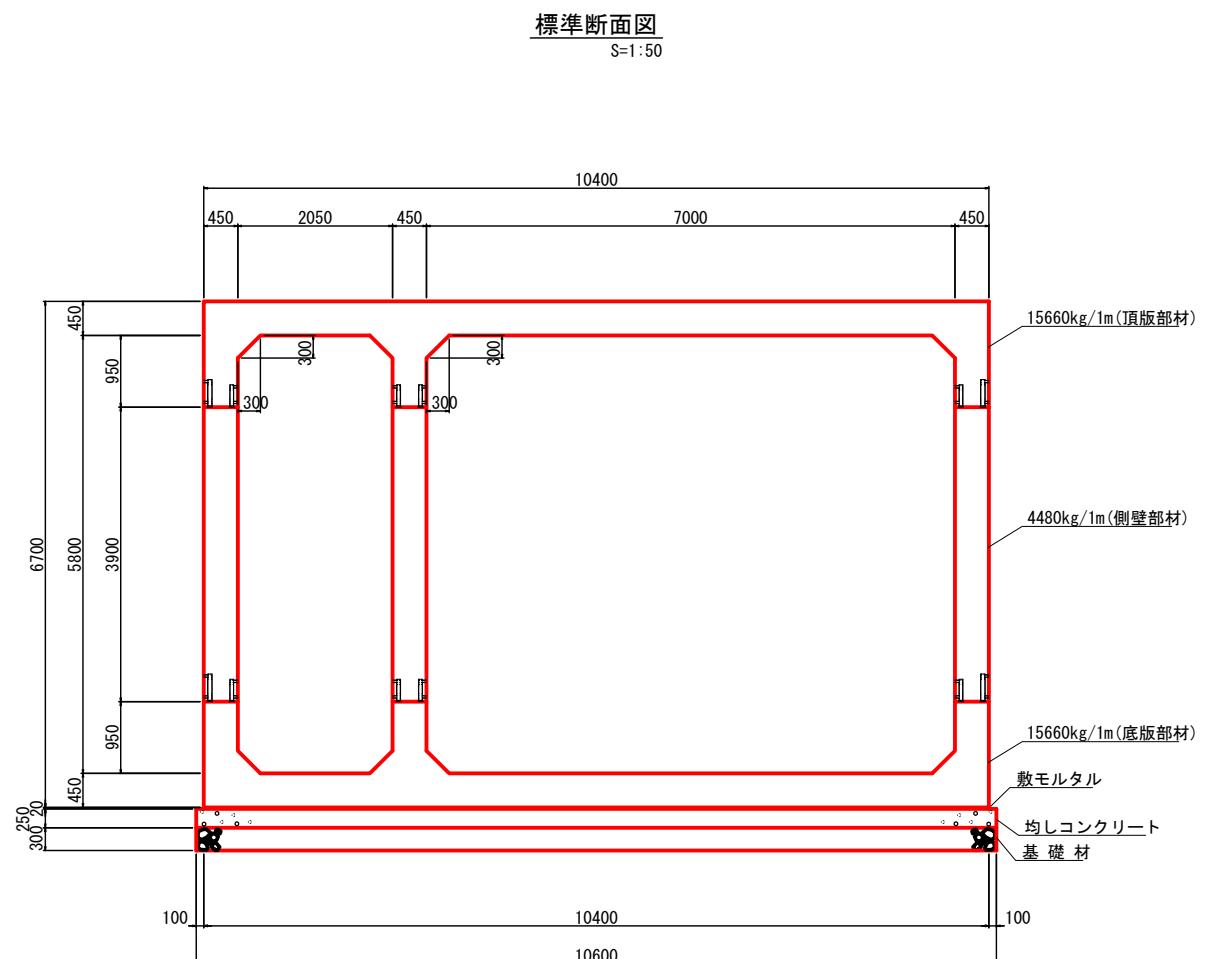
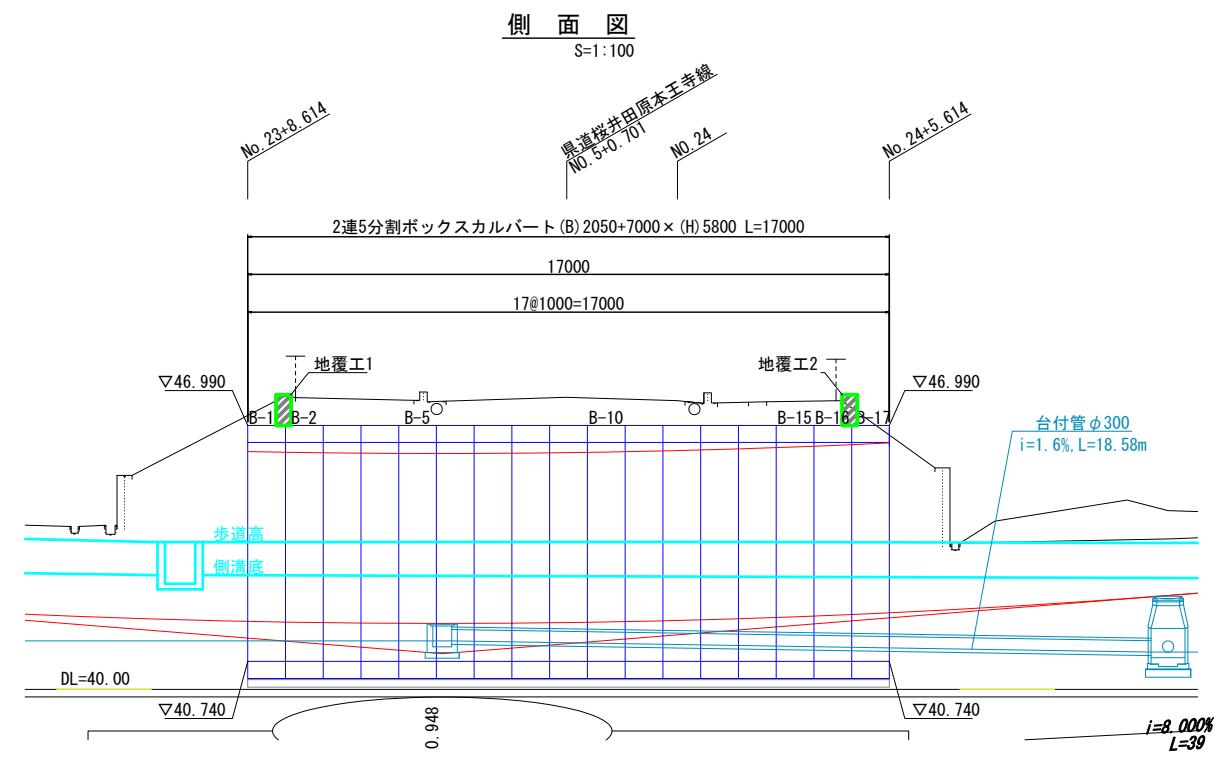
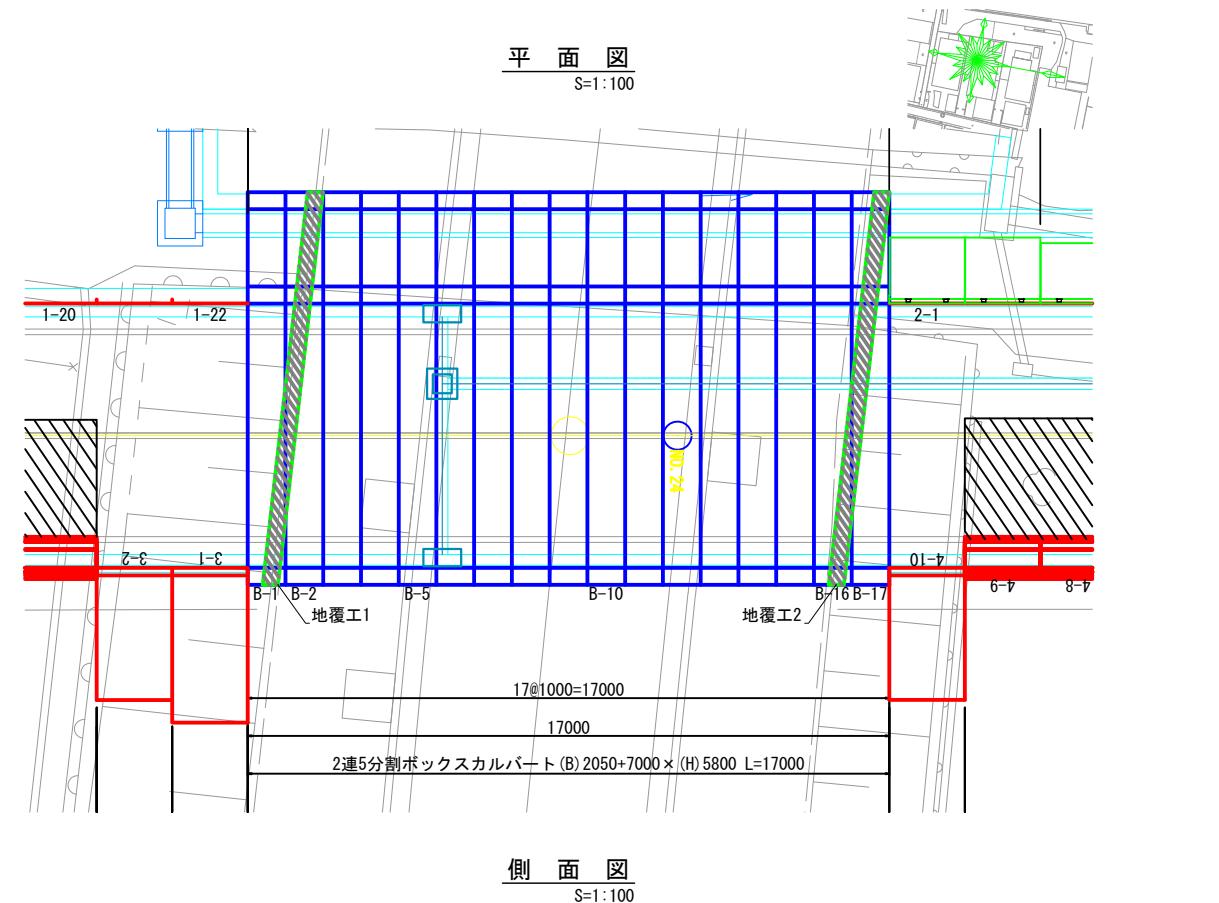
設 計 条 件	
橋 梁 名	中南線橋梁（仮称）
道路区分	第3種 第2級
設計速度	V=60km/h
内 空 幅	9.50m（車道7.00m+側整0.45m+歩道2.05m）
内 空 高	5.80m
土 被 り	0.45m以上
有効幅員	全幅 : 15.180m 有効 : 14.500m
斜 角	83° 30'
平面線形	R=1600
縦断勾配	i=3.08%
横断勾配	2.00% 1.50% 1.50% 2.00%
設計荷重	B活荷重（車道）、群集荷重（歩道）
車道舗装	表層：再生粗粒度アスコン t= 5cm 基層：再生粗粒度アスコン t= 5cm 上層路盤：再生粗粒度アスコン t=10cm 下層路盤：再生クラッシャーラン t=25cm
歩道舗装	表層：再生細粒度アスコン t= 4cm 路盤：再生クラッシャーラン t=10cm
函渠工形式	2連RCフレキヤストボックスカルバート
基礎工形式	直接基礎（地盤改良）
適用示方書	道路構示方書I～V（平成29年3月）



施工年度 工事番号	令和8年度 第201号		
工事名	中南縦整備に伴う箇瀬設置工事		
路線河川名 施工箇所	県道 横井田原本王寺線ほか 広陵町大字南 地内		
図面種類 縮尺	全体一般図 S= 図示 (A1)		
技師	照査	設計	製図
図面番号	135 葉中 13号		
事務所名	広 陵 町		

ボックスカルバート割付図

設計条件		
項目	単位	設計値
適用土被り	m	0.45~0.90
上載荷重	—	T-245 横断
単位体積重量	kN/m³	24.5 鉄筋コンクリート
	kN/m³	18.0 土
土圧係数	—	0.5
外水位	—	なし



製品数量表(2連5分割ボックスカルバート)

製品番号	サイズ B × H × L	規格	数量	参考質量	摘要
2連5分割ボックスカルバート					
	2050+7000 × 5800 × 1000	標準	13 本	44760 kg	
B-1	× 1000	差筋	1 本	44760 kg	D19 L=700 n=61
B-2	× 1000	差筋	1 本	44760 kg	D19 L=700 n=27
B-16	× 1000	差筋	1 本	44760 kg	D19 L=700 n=61
B-17	× 1000	差筋	1 本	44760 kg	D19 L=700 n=27
合計			17 本		

必要地耐力 : 122kN/m²以上

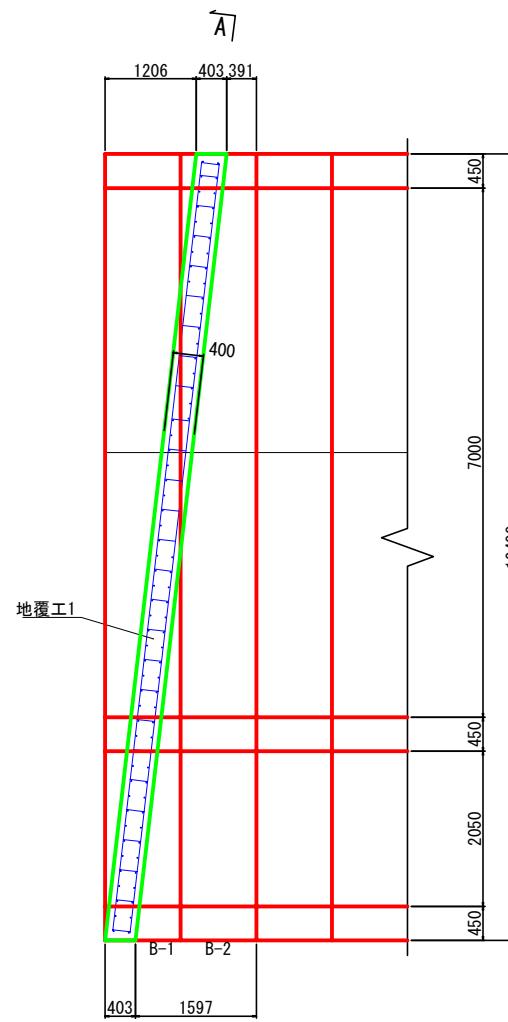
433253017-C-1-20251111

施工年度 工事番号	令和8年度 第201号
工事名	中南線整備に伴う函渠設置工事
路線河川名	県道 横井原本王寺線ほか
施工箇所	広陵町大字南 地内
図面種類 縮尺	ボックスカルバート割付図 1:50
技師	照査
照査	設計
設計	製図
製図	
図面番号	135 葉中 14 号
事務所名	広陵町

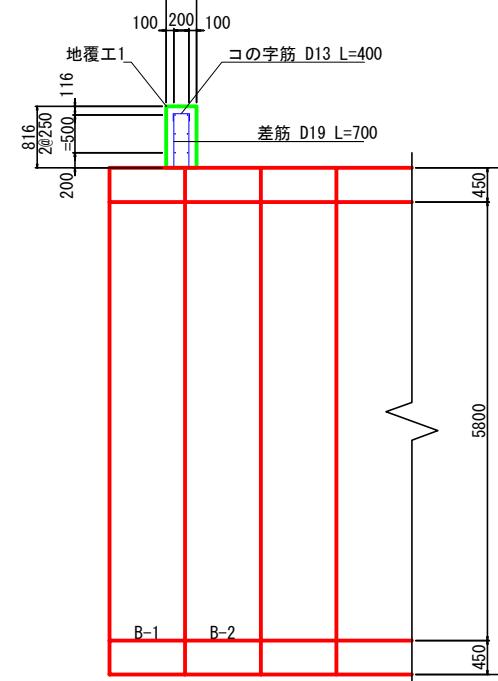
地覆工詳細図(その1)

S=1:50

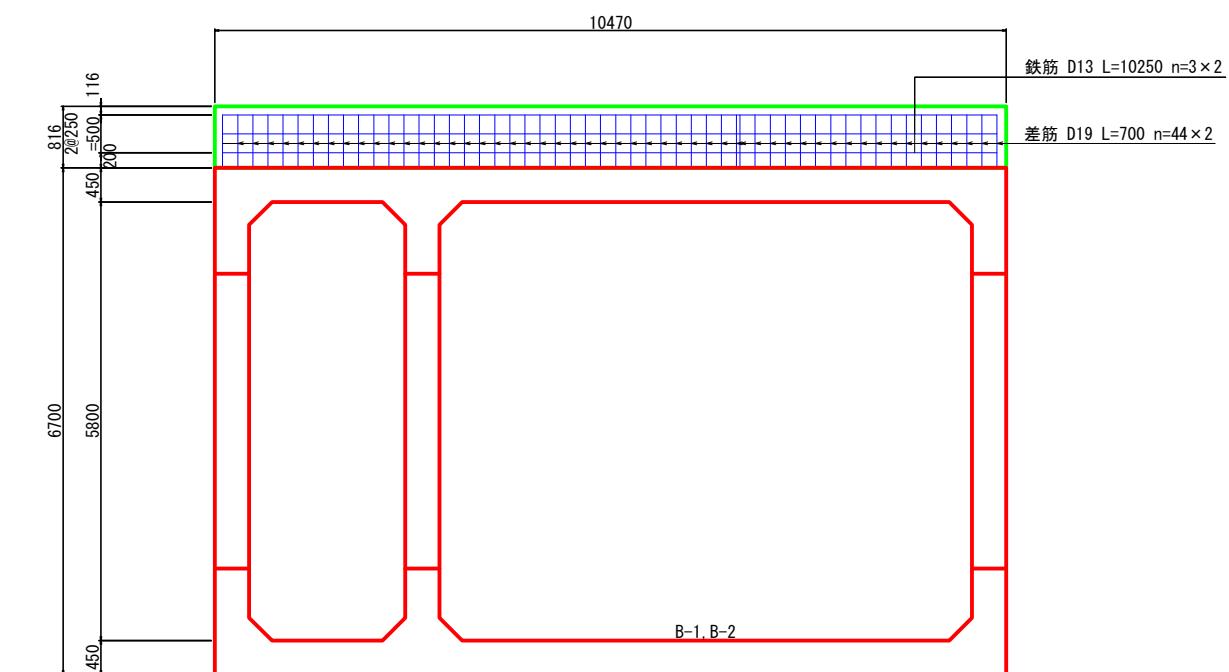
平面図



側面図

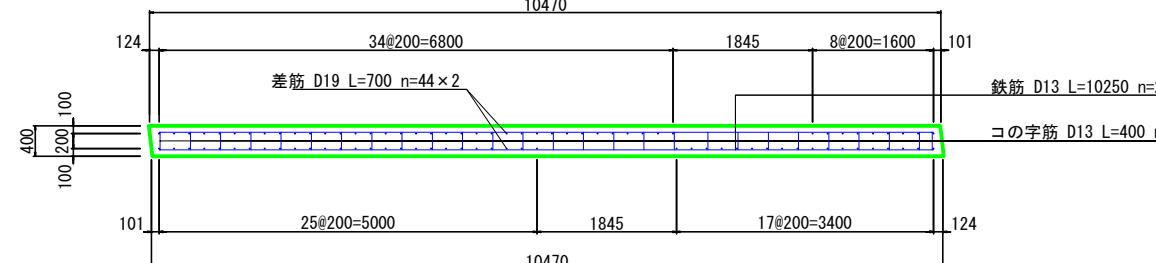


A-A断面図

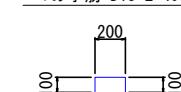


1A

差筋位置図



ヨの字筋 D13 L=400



材 料 表 (地 覆 工)

名 称	規 格	算 式	单 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{ (N/mm}^2)$	$10.470 \times 0.400 \times 0.816$	m ³	3.417
同 上 型 构		$(10.470+0.403) \times 2 \times 0.816$	m ²	17.745
鉄 筋	D13	$(10.250 \times 6+0.400 \times 27) \times 0.995$	kg	71.939

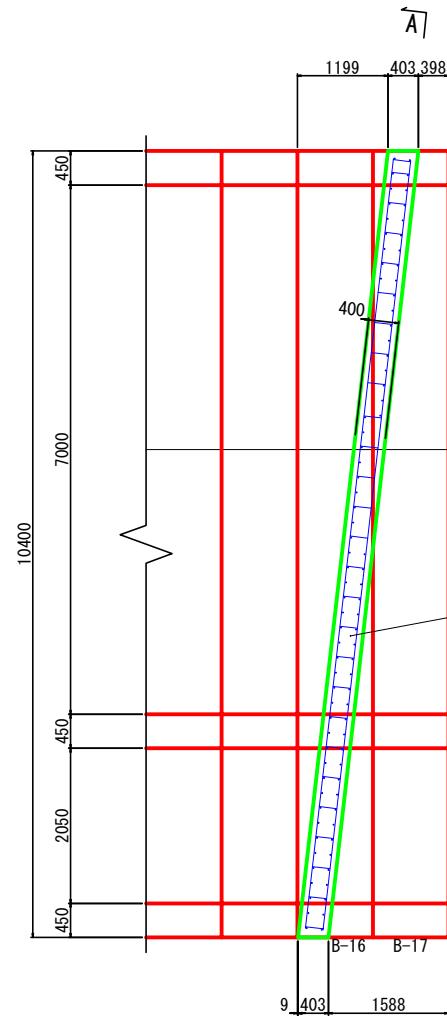
※差筋は製品付属品のため、計上していない

施工年度 工事番号	令和8年度 第201号		
工事名	中南線整備に伴う函渠設置工事		
路線河川名	県道 横井田原本王寺線ほか		
施工箇所	広陵町 大字南 地内		
図面種類 縮 尺	地覆工詳細図 (その1) S= 図示 (A1)		
技 師	照 査	設 計	製 図
図面番号	135 葉中 15 号		
事務所名	広 陵 町		

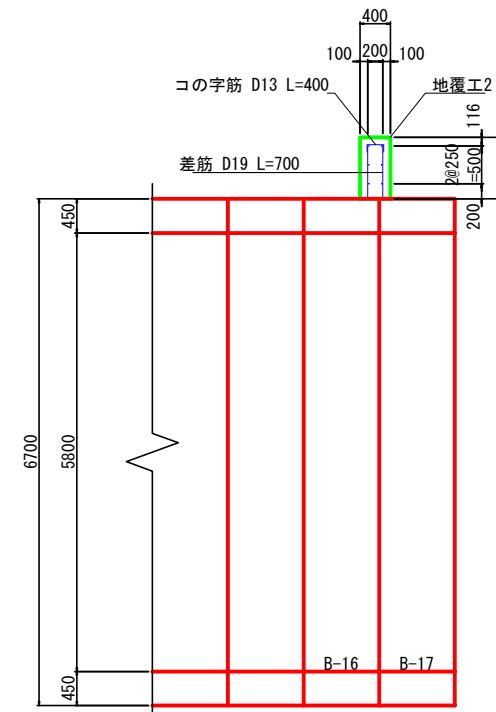
地覆工詳細図(その2)

S=1:50

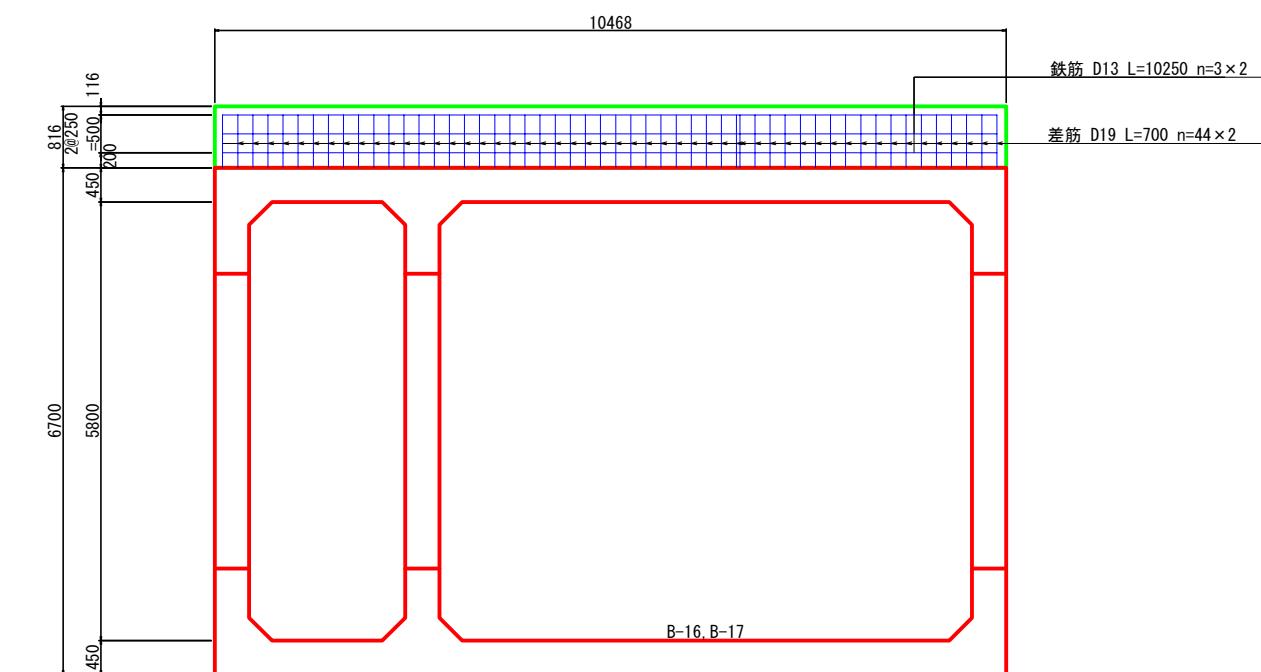
平面図



側面図

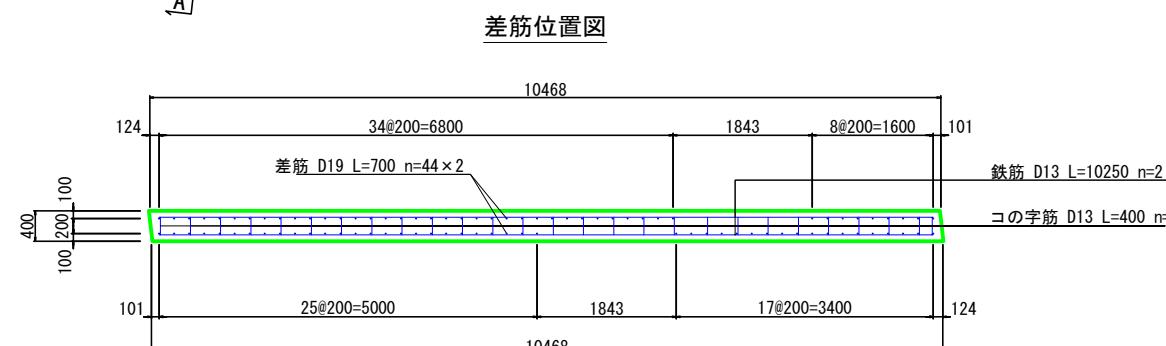


A-A断面図

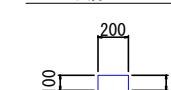


A

差筋位置図



コの字筋 D13 L=400



材料表(地覆工2)

一式当り				
名 称	規 格	算 式	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=24 \text{ (N/mm}^2\text{)}$	$10.468 \times 0.400 \times 0.816$	m ³	3.417
同上型枠		$(10.468+0.403) \times 2 \times 0.816$	m ²	17.741
鉄 筋	D13	$(10.250 \times 6+0.400 \times 27) \times 0.995$	kg	71.939

※差筋は製品付属品のため、計上していない。

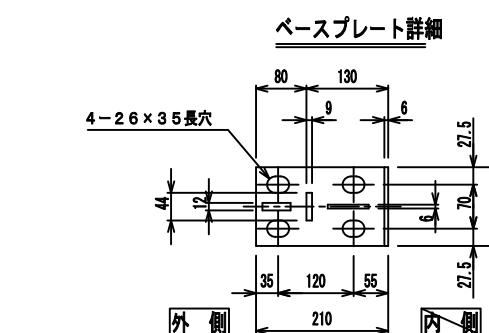
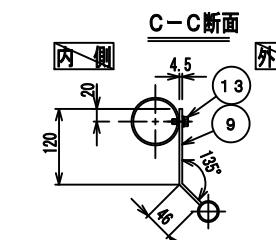
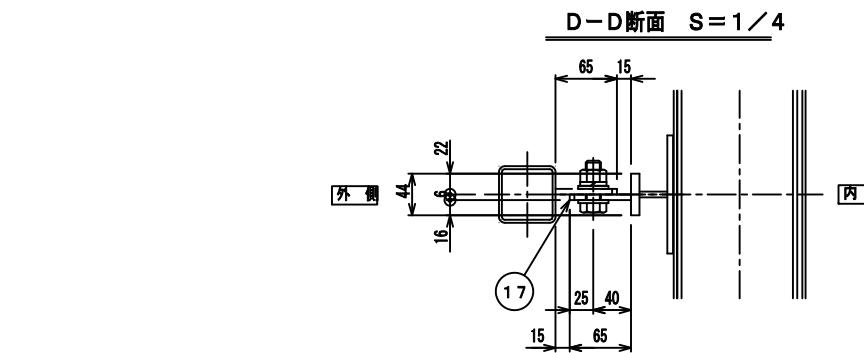
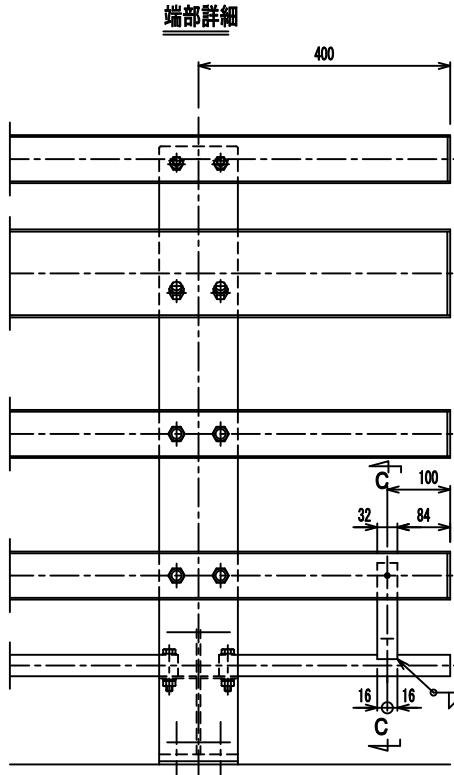
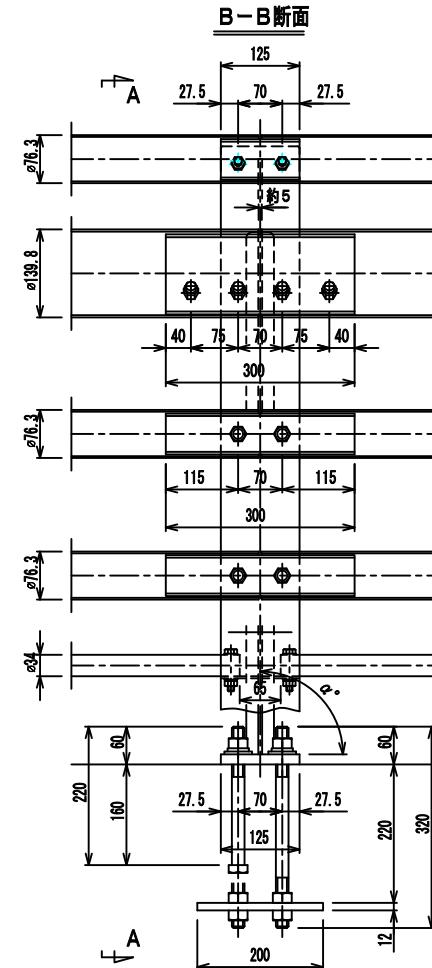
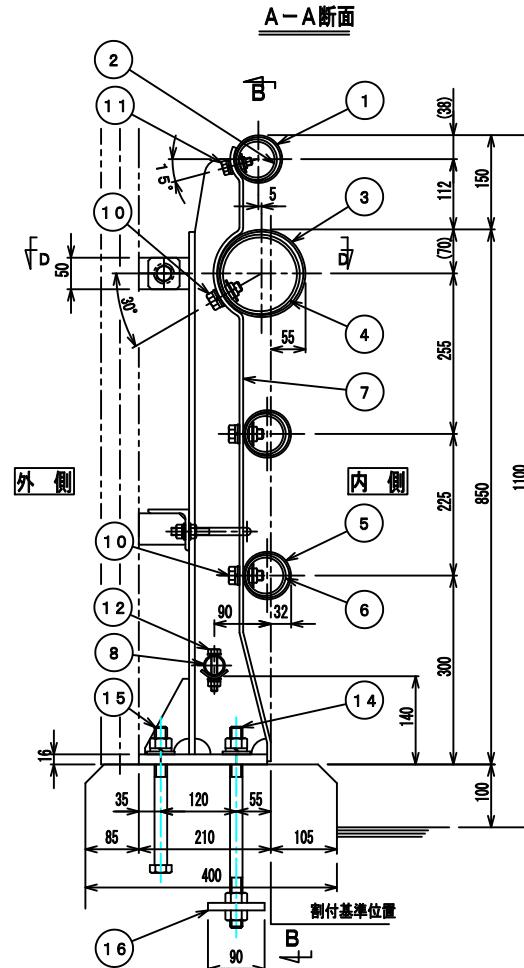
施工年度 工事番号	令和8年度 第201号
工 事 名	中南壁整備に伴う箇渠設置工事
路線河川名 施工箇所	県道 横井田原本王寺線ほか 広陵町大字南 地内
図面種類	地覆工詳細図(その2)
縮 尺	S=図示(A1)
技 師	照 査 設 計 製 図
図面番号	135 葉中 16 号
事務所名	広陵町

防護柵詳細図

高欄兼用車両防護柵取付詳細図 S=1/6

KSL-B-PCL3-85150RK

※Kは落下物防止柵抱き合わせ支柱を示す



製作勾配	α°
3%R	8 8° 17'
3%L	9 1° 43'

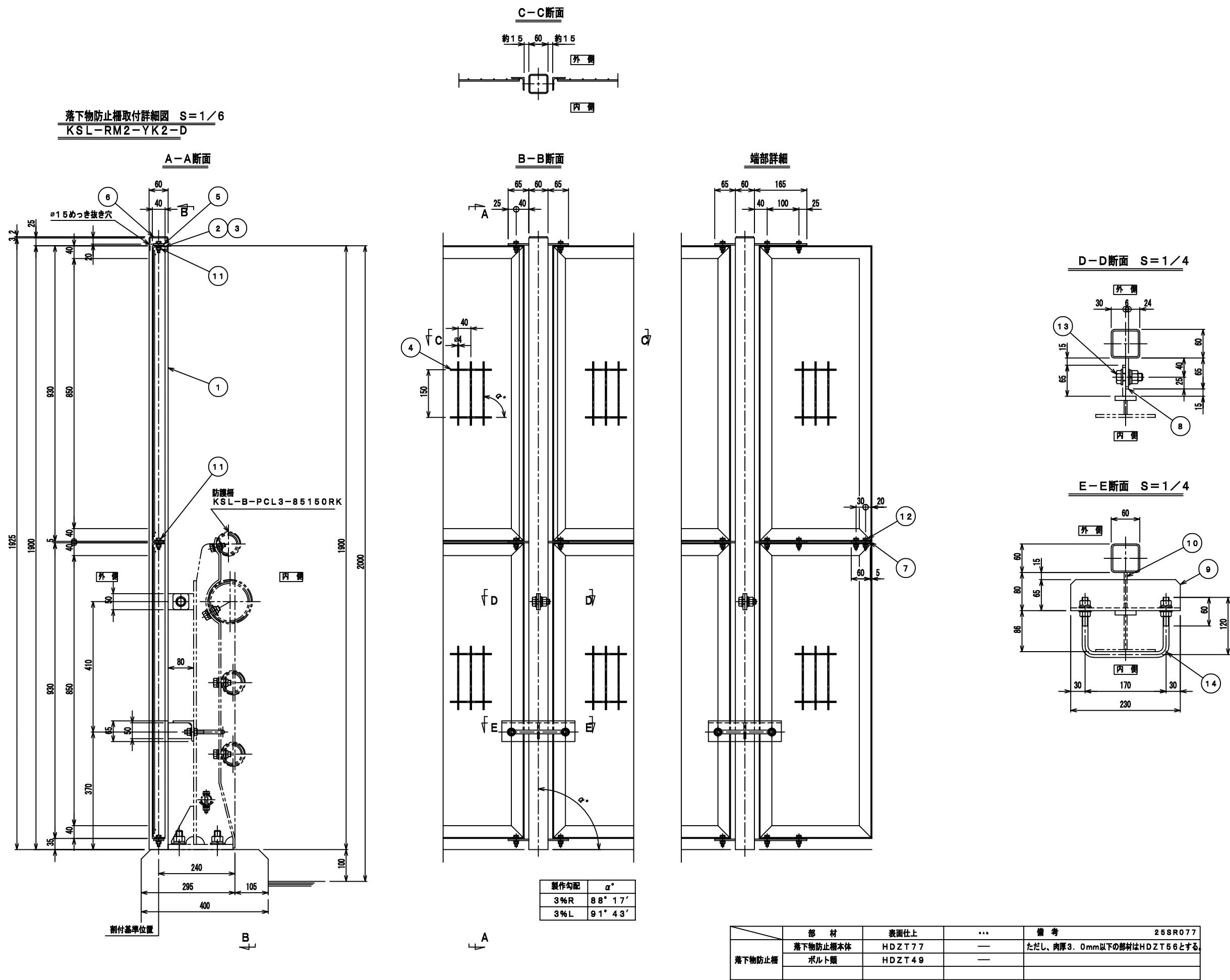
橋梁用ピーム型防護柵は、(一社)全国高欄協会にて認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする。

部材	表面仕上	仕上色	備考
防護柵本体	HDZT77	—	ただし、肉厚3.0mm以下の部材はHDZT56とする。
ボルト類	HDZT49	—	

施工年度 工事番号	令和8年度 第201号
工事名	中南線整備に伴う函渠設置工事
路線河川名 施工箇所	県道 横井原本王寺線ほか 広陵町大字南 地内
図面種類 縮尺	防護柵詳細図 S=図示(A1)
技師 照査 設計 製図	
図面番号	135 葉中 17号
事務所名	広陵町

落下物防止柵詳細図

落下物防止柵取付詳細図 S=1 / 6



防護柵割付図

平面割付図 S=1/50

注記 1) 印は支柱【構梁通し部】を示す

注記 1) 印は支柱【横梁通し部】を示す
2) 印は支柱【構梁繋手部】を示す

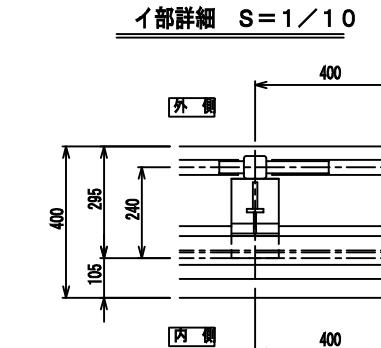
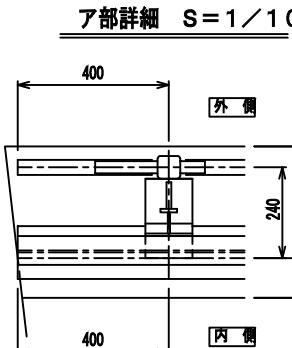
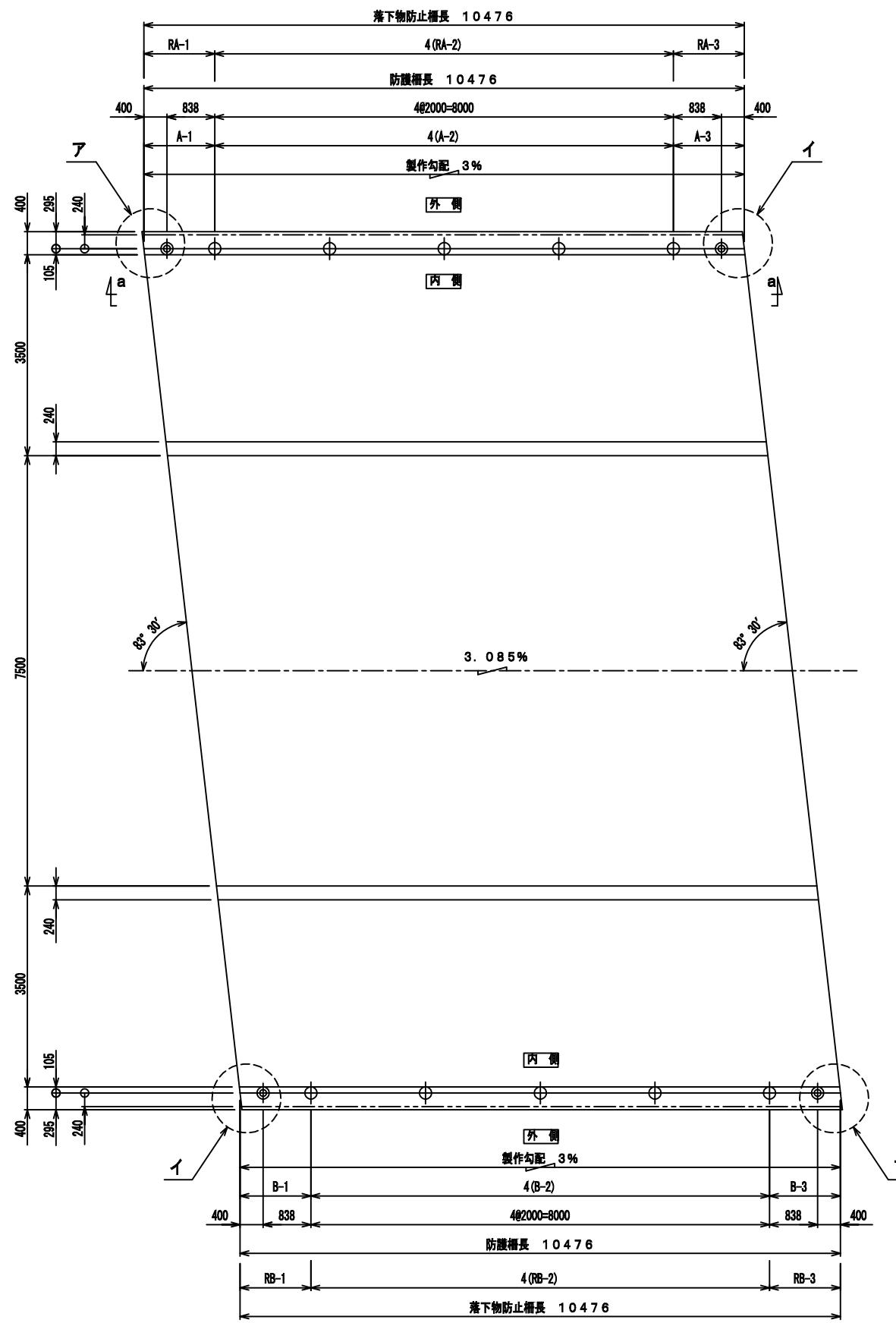
3) 寸法は割付基準位置の寸長を示す。

防護柵全長 20M95

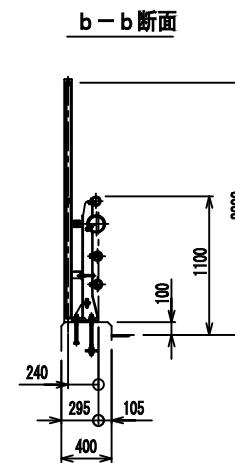
3% 20M952

落下物防止柵全長 20M95

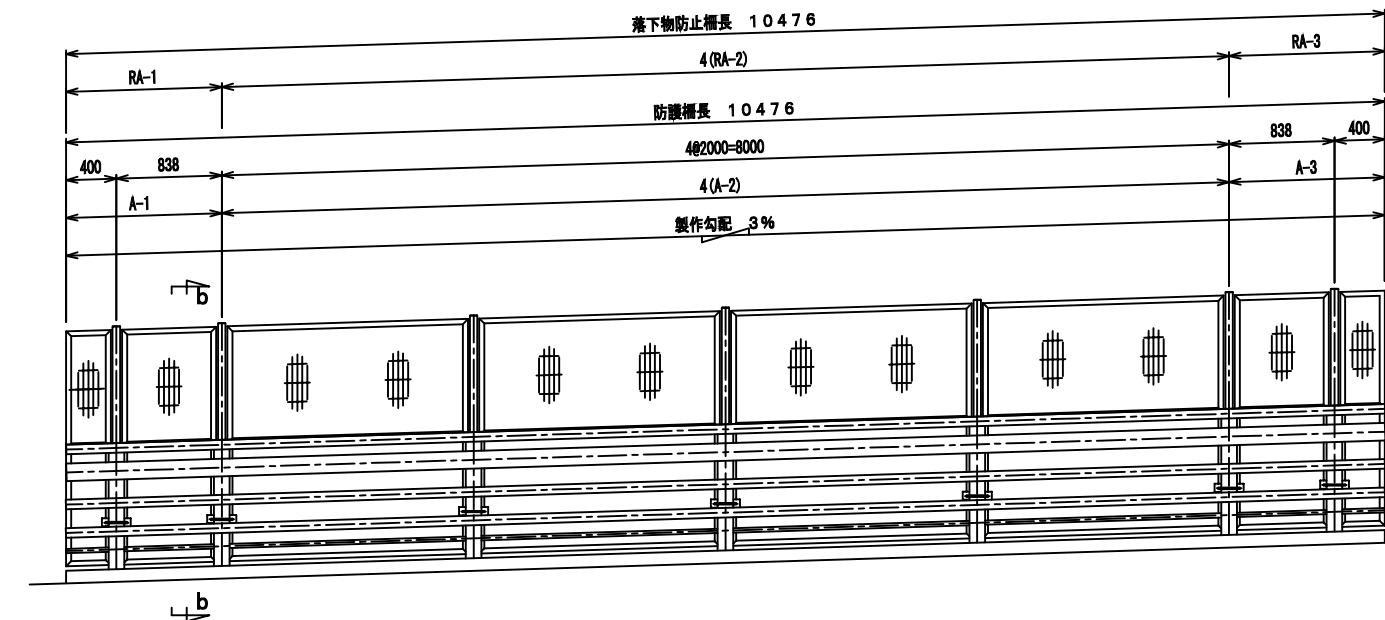
3% 20M



a-a 矢視 S=1/30

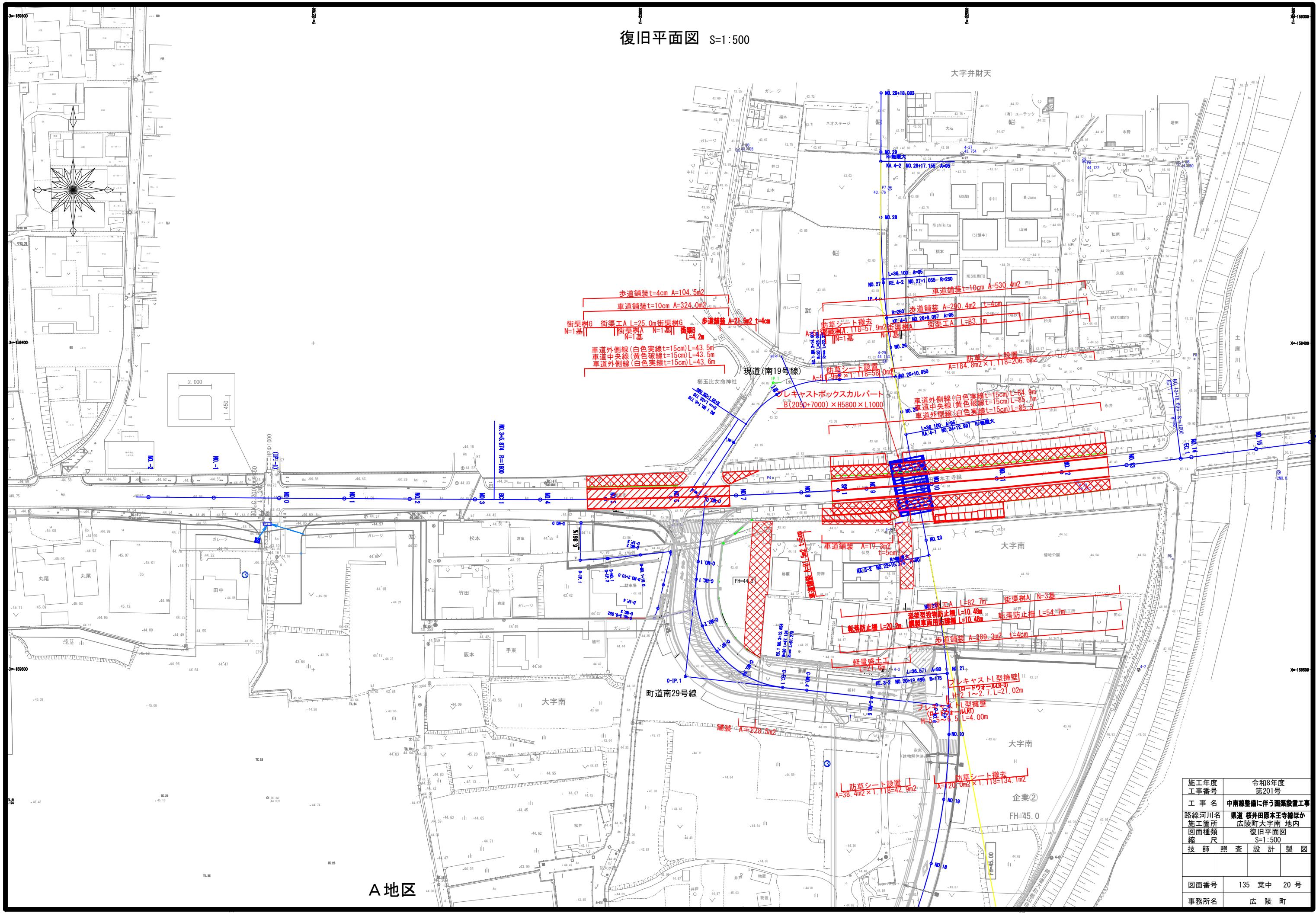


落下物防止柵長 1047

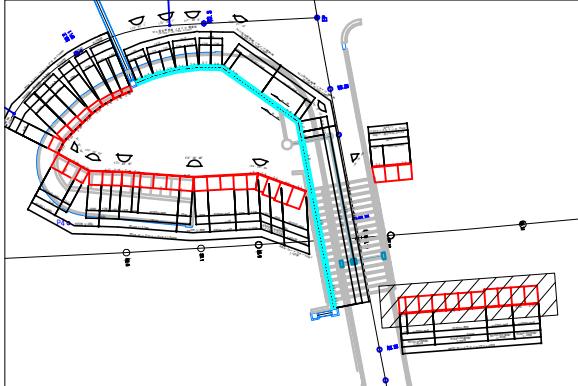


施工年度 工事番号	令和8年度 第201号		
工事名	中南線整備に伴う箇園設置工事		
路線河川名 施工箇所	県道 桜井田原本王寺線ほか 広陵町大字南 地内		
図面種類 縮尺	県道横断図(その1) S=図示(A1)		
技師	照査	設計	製図
図面番号	135 葉中 19号		
事務所名	広陵町		

復旧平面図 S=1:500

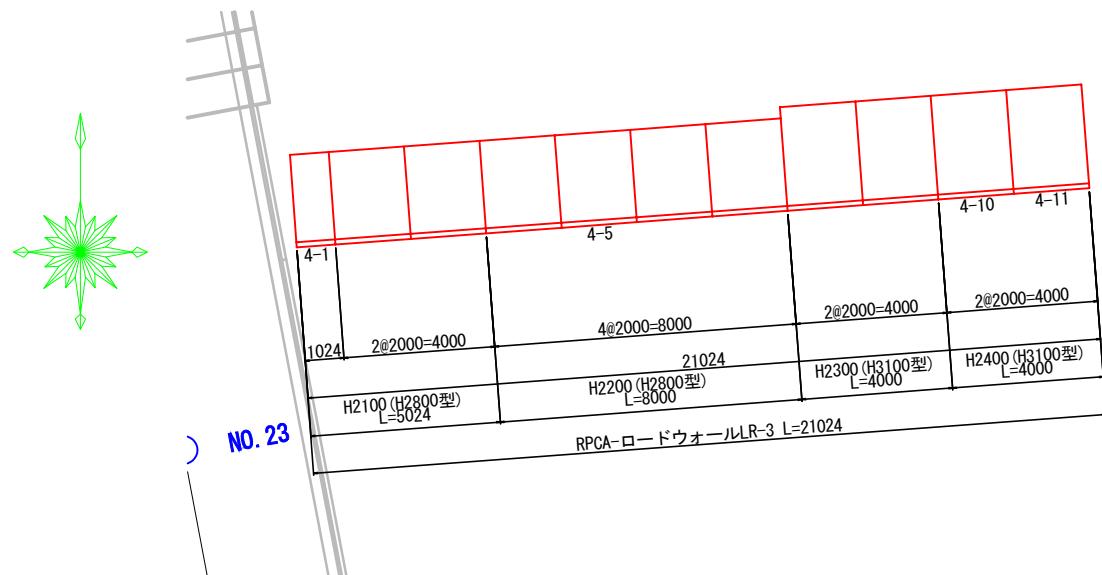
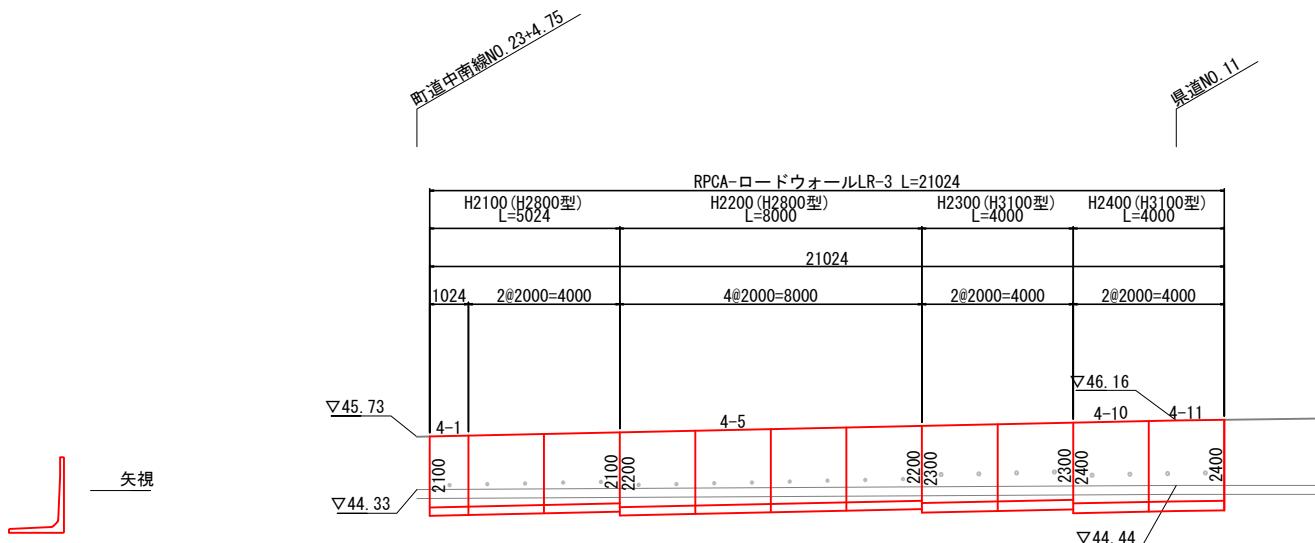


施工年度 工事番号	令和8年度 第201号
工事名	中南線整備に伴う函渠設置工事
路線河川名	県道 桜井原本王寺線ほか
施工箇所	広陵町大字南 地内
図面種類	復旧平面図
縮尺	S=1:500
技師	照査 設計 製図
図面番号	135 葉中 20号
事務所名	広陵町



KEY PLAN

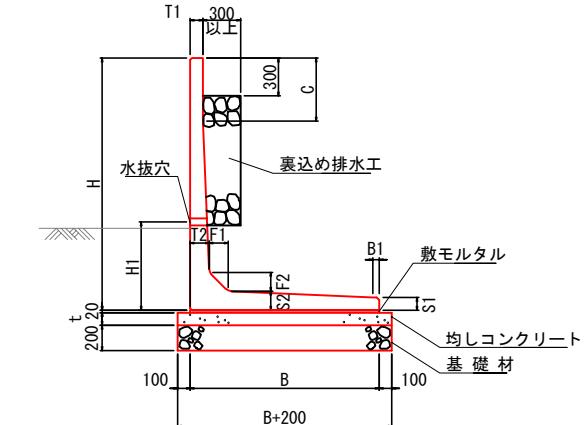
県道南東側L型擁壁構造図

平面図
S=1:100正面展開図
S=1:100

DL=40.000

標準断面図
S=1:30

RPCA-ロードウォールLR-3



寸法表

サ イ ズ H × 公称長さ	寸法仕様(mm)										必要地耐力 (kN/m ²)		
	B	B1	T1	T2	S1	S2	F1	F2	C	H1	t	常時	地震時
2100(2800型) x 2000	2450	360	130	220	150	220	200	300	600	800	100	72	99
2200(2800型) x 2000	2450	360	130	220	150	220	200	300	700	800	100	77	107
2300(3100型) x 2000	2750	400	130	260	150	260	200	300	300	1000	150	78	106
2400(3100型) x 2000	2750	400	130	260	150	260	200	300	400	1000	150	83	113

※根入れは前面水路底版下面から擁壁底版下面まで300mm以上確保すること。

※擁壁背面の排水処理は適切に行うこと。

※水抜穴は現地確認の上、必要に応じて新設すること。

製品数量表 県道南東側L型擁壁

一式当り

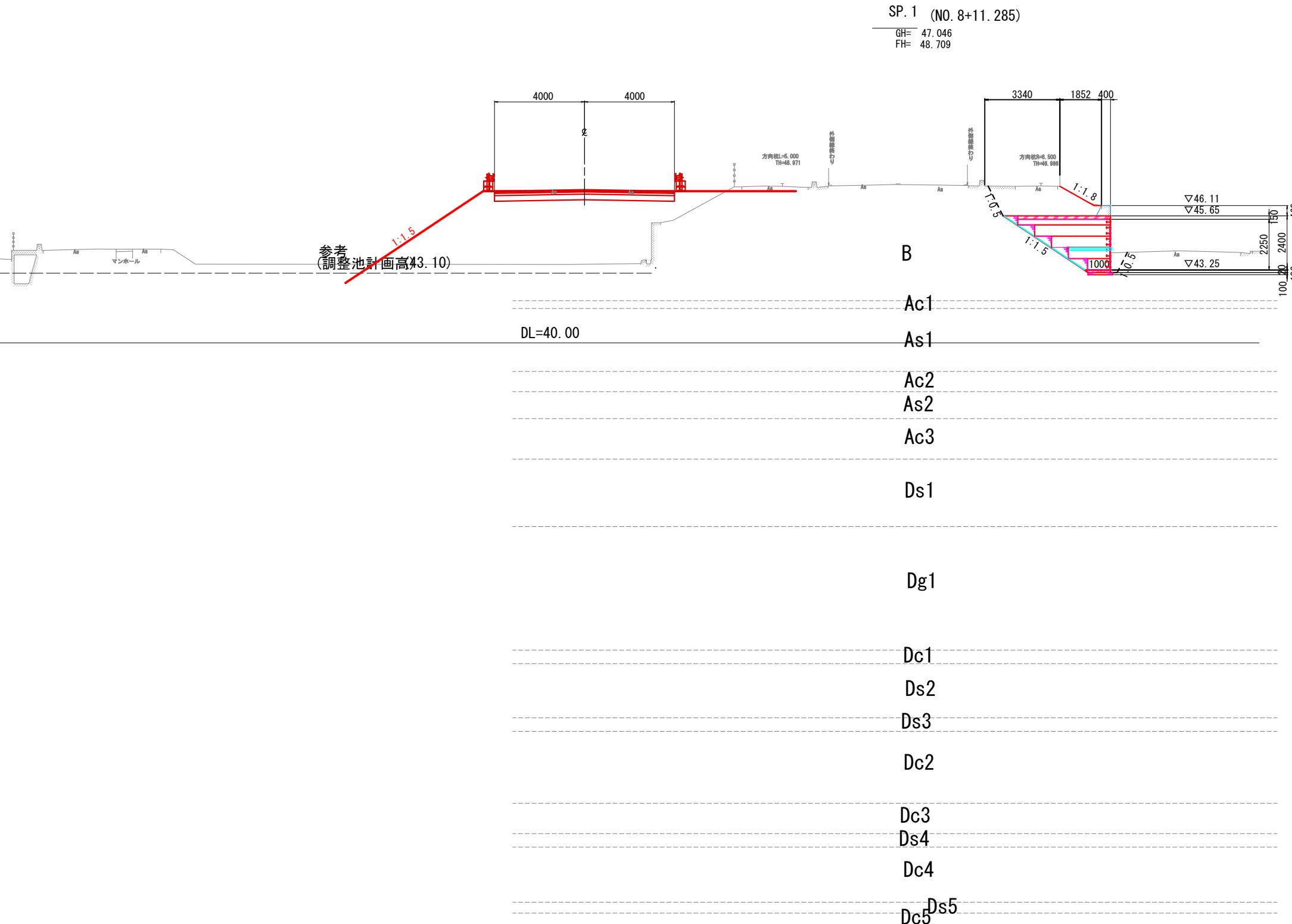
製品番号	サ イ ズ H × L	規 格	数 量	参 考質量	使 用型枠	摘 要
RPCA-ロードウォールLR-3						
4-2, 4-3	2100 × 2000	天端加工	2 本	3920 kg	H2800型	
4-1	× 1024	天端加工 調整用	1 本	2010 kg	H2800型	
4-4, 4-5 4-6, 4-7	2200 × 2000	天端加工	4 本	3990 kg	H2800型	
4-8, 4-9	2300 × 2000	天端加工	2 本	4880 kg	H3100型	
4-10, 4-11	2400 × 2000	天端加工	2 本	4940 kg	H3100型	
合計						11 本

※製品1本につき伸びを2mm含む。

433253017-C-4-20251121

施工年度 工事番号	令和8年度 第201号
工 事 名	中南側整備に伴う函渠設置工事
路線河川名	県道 横井田原本王寺線ほか
施工箇所	広陵町大字南 地内
図面種類	県道南東側L型擁壁構造図
縮 尺	1:50
技 師	照 査
設 計	製 図
国面番号	135 葉中 21 号
事務所名	広陵町

軽量盛土工 横断図（その1）



数量表 SP. 1		
工種	単位	数量
EPSフ'ロック (D-20)	m2	5.43
単粒度碎石 (4 号) 6.0m以下	m2	1.05
長繊維不織布 (ODS)	m	4.33
重力式擁壁足場工	m	2.10

凡例

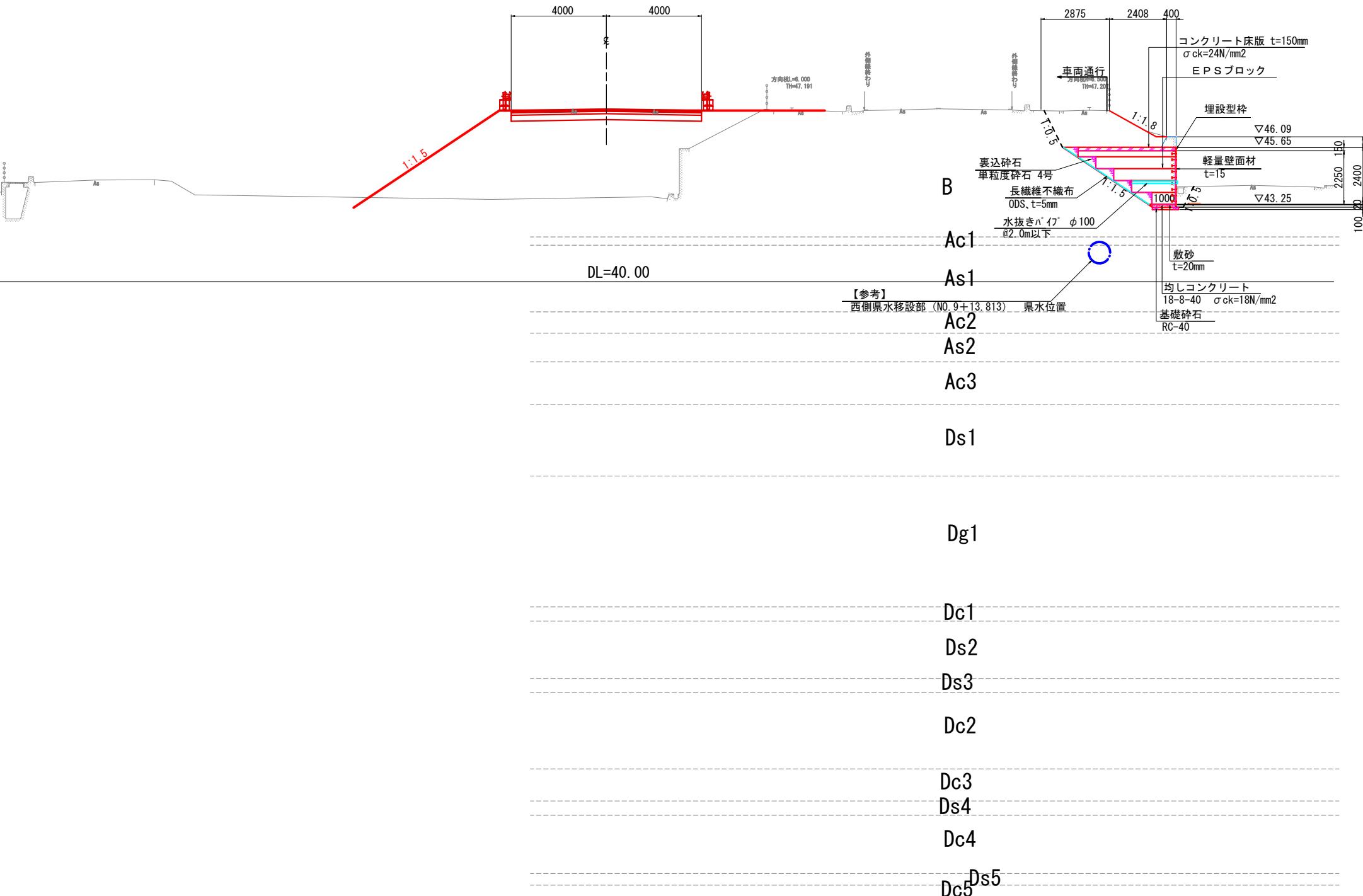
- ・発泡スチロール土木工法開発機構（ＥＤＯ）の規格認定材料と同等品以上を使用すること。

施工年度 工事番号		令和8年度 第201号	
工事名		中南線整備に伴う函渠設置工事	
路線河川名 施工箇所		県道 桜井田原本王寺線ほか 広陵町大字南 地内	
図面種類 縮 尺		軽量盛土工 横断圖(その1) S=1:100	
技 師	照 査	設 計	製 図
図面番号		135 葉中 22 号	
事務所名		広 陵 町	

軽量盛土工 横断図 (その2)

NO. 9

GH= 47.259
FH= 48.988



数量表 NO. 9

工種	単位	数量
EPSブロック (D-20)	m2	5.43
単粒度碎石 (4号) 6.0m以下	m2	1.05
長繊維不織布 (ODS)	m	4.33
重力式擁壁足場工	m	2.10

凡例

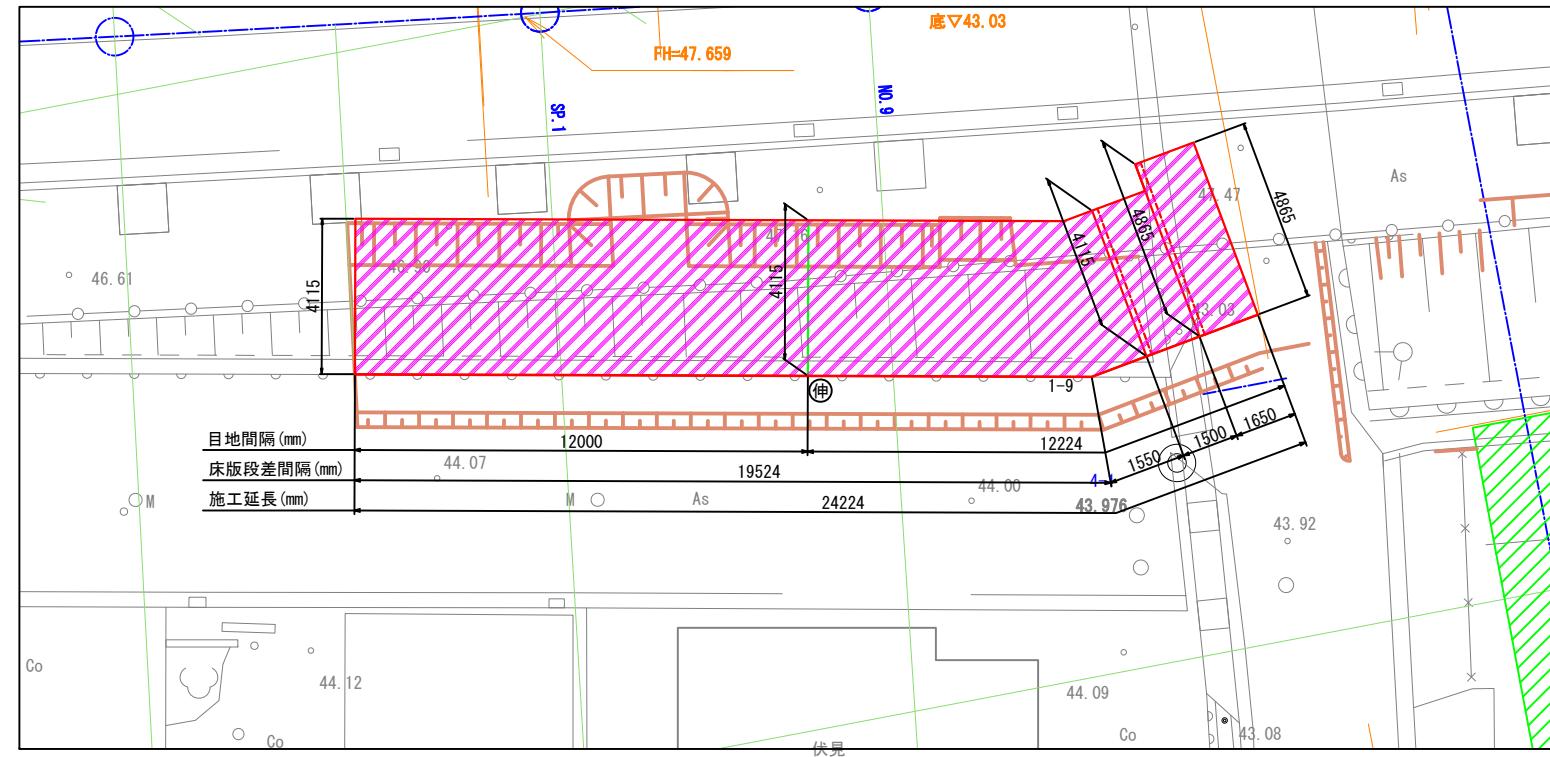
摘要	種別
EPSブロック (D-20)	■

・発泡スチロール土木工法開発機構 (EDO) の規格認定材料と同等品以上を使用すること。

施工年度 工事番号	令和8年度 第201号	
工事名	中南線整備に伴う函渠設置工事	
路線河川名	県道 桜井原本王寺線ほか	
施工箇所	広陵町大字南 地内	
図面種類	軽量盛土工 横断図(その2)	
縮尺	S=1:100	
技師	照査	設計
図面番号	135	葉中 23号
事務所名	広陵町	

コンクリート床版図

S=1:100



上部コンクリート床版 数量表

項目	単位	項目	摘要
施工延長	m	24.224	
施工上面高	m	▽45.650 ~ ▽46.150	
施工厚	mm	150	
施工平面積	m ²	97.80	
目地材設置箇所数	箇所	1	
床版工段差箇所数			
h=250mm	箇所	2	

床版段差部施工幅 (始点側から)

	段差高 h (m)	施工幅 B (m)
1	0.250	4.115
2	0.250	4.865

目地材施工幅

	施工幅 B (m)
1	4.115

施工年度
工事番号

令和8年度
第201号

工事名

中南線整備に伴う箇渠設置工事

路線河川名

県道 横井田原本王寺線ほか

施工箇所

広陵町大字南 地内

図面種類

コンクリート床版図

縮尺

S=1:100

技師

照査

設計

製図

技師

照査

設計

製図

図面番号

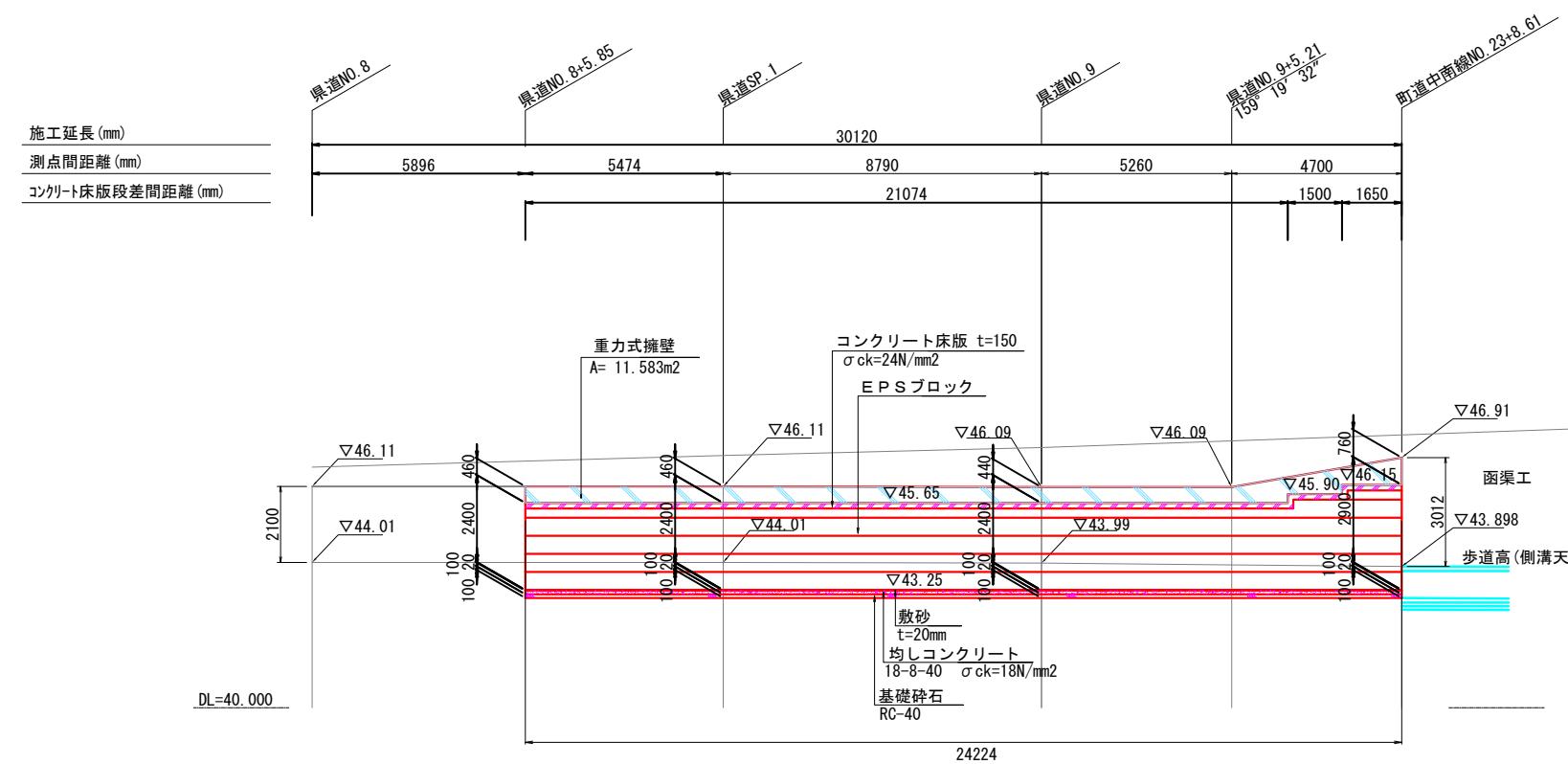
135 葉中 24 号

事務所名

広陵町

軽量盛土工 展開図

S=1:100



凡例

概要	種別
E P S ブロック (D-20)	□

・発泡スチロール土木工法開発機構（EDO）の規格認定材料と同等品以上を使用すること。

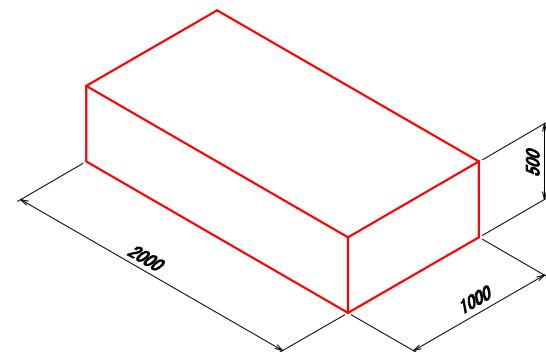
施工年度 工事番号	令和8年度 第201号	
工事名	中南線整備に伴う函渠設置工事	
路線河川名 施工箇所	県道 横井田原本王寺線ほか 広陵町大字南 地内	
図面種類	軽量盛土工 展開図	
縮尺	S=1:100	
技師	照査	設計 製図
図面番号	135	葉中 25号
事務所名	広陵町	

軽量盛土工 構造図 (1)

(EPS工詳細図)

EPSブロックの基本形状・物性規格

S=1:25



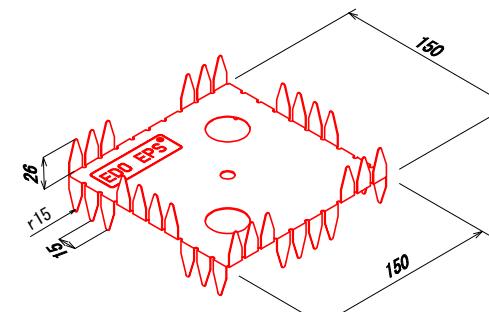
型内発泡 EPS ブロック

EPS ブロック物性表

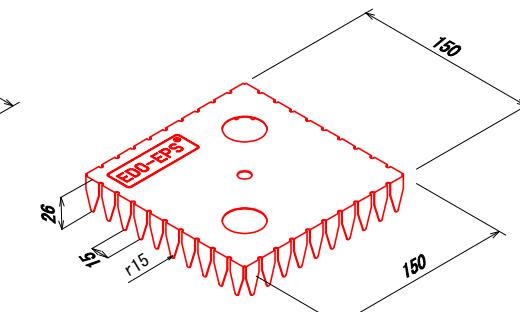
項目	単位	E PS ブロック種別						試験方法	
		型内発泡法							
		D-35	D-30	D-25	D-20	D-16	D-12		
単位体積重量	kN/m ³	0.35 +0.030 -0.020	0.30 +0.030 -0.020	0.25 +0.020 -0.015	0.20 +0.020 -0.010	0.16 +0.020 -0.010	0.12 +0.020 -0.010	JIS K 7222	
圧縮強度	kN/m ²	220以上	180以上	140以上	100以上	70以上	40以上	降伏ひずみ時もしくは10%ひずみ時	
許容圧縮応力度	kN/m ²	110	90	70	50	35	20	圧縮弾性領域	
• 発泡スチロール土木工法開発機構（EDO）の規格認定材料と同等品以上を使用する • 赤枠は、本設計で使用するEPSブロックを示す。									

緊結金具詳細図

両爪型



片爪型



材料物性表

種類	めっき付着量			引張試験値
	両面等厚めっきの最小付着量(両面の合計 g/m ²)	3点平均の最小付着量	1点の最小付着量	
高強度一般用	AZ150	150	130	295以上 400以上
• 発泡スチロール土木工法開発機構（EDO）が指定した金具と同等品以上を使用する				

緊結金具の設置数

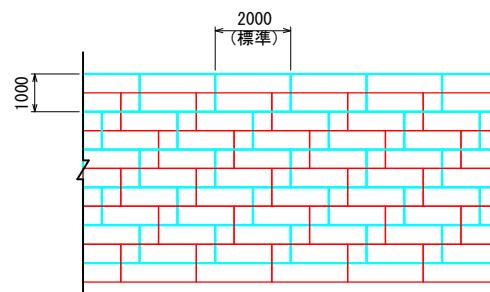
条件	ブロックサイズ	個数	摘要
1m ³ あたり	—	1.15	
1m ³ あたり	2.0m × 1.0m × 0.5m	2.30	

- レベル2地震動対応の場合は、上記個数の倍の金具を使用する。
- 緊結金具の個数は、ロス分を含んだ数量とする。
- 切断加工したブロックには、1ブロックあたり1個ないし2個使用とする。
- 発泡スチロール土木工法開発機構（EDO）が指定した金具と同等品以上を使用する事。

EPSブロック配置の参考例

S=1:100

平面図



特記事項

1. 本工事の軽量盛土工法
 - (1) 本工事における軽量盛土工法は、契約図面に示す構造条件等に対し、「EDO-EPS工法 設計・施工基準書 (2019年5月 発泡スチロール土木工法開発機構)」(以下、「基準書」と示す)により決定している。
 - (2) 本工事に施工に際し、上記1. (1)によらず別の軽量盛土工法を採用しようとする場合は、事前に監督職員の承諾を得なければならない。
2. 使用材料
 - (1) 発泡スチロールブロックについては、「基準書」第3章 材料 3. 2 EDO-EPSブロックに示される材料特性を満足するものとする。
 - (2) 緊結金具については、地震時における軽量盛土体に作用する水平力に対し、発泡スチロールブロックの結合性能が金具のせん断抵抗力により確保できる機能を有するものとすること。
3. 施工管理方法

本工事における軽量盛土工の施工管理については、「施工管理基準」の他、「基準書」第6章 施工によるものとる。

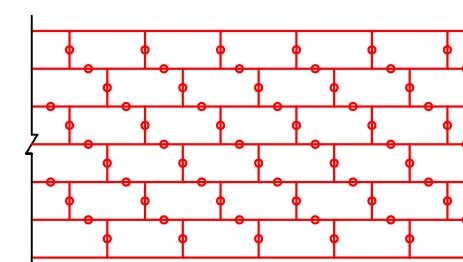
■ 上層ステージ

■ 下層ステージ

緊結金具の設置例

S=1:100

平面図



○ 緊結金具

施工年度 工事番号	令和8年度 第201号
工事名	中南線整備に伴う箇所設置工事
路線河川名 施工箇所	県道 横井田原本王寺線ほか 広陵町大字南 地内
図面種類	軽量盛土工 構造図(1)
縮尺	1:100
技師	照 査 設 計 製 図
図面番号	135 葉中 26号
事務所名	広陵町

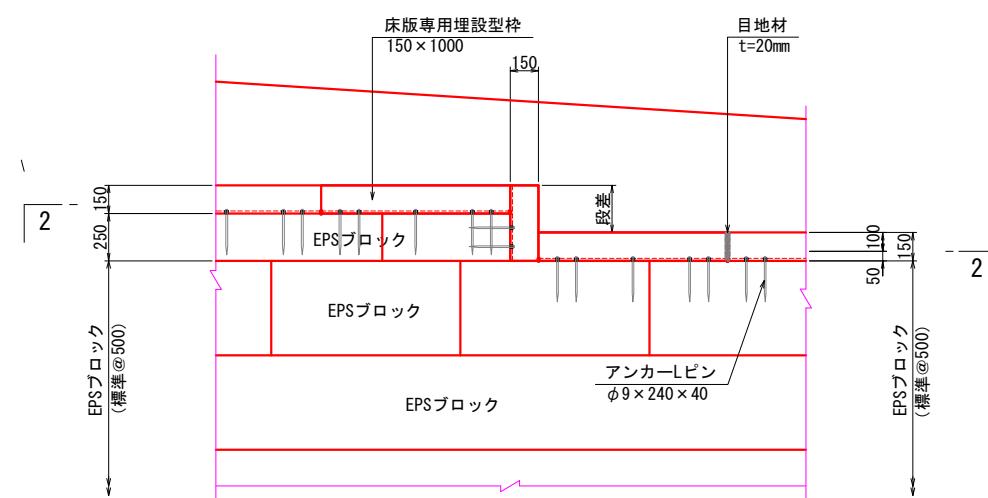
軽量盛土工 構造図 (2)

(床版工詳細図-1)

コンクリート床版 ($t=150$)

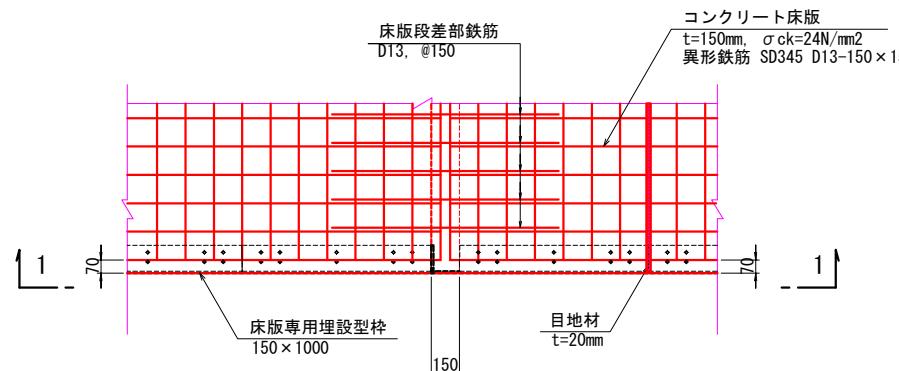
(上部コンクリート床版) S=1:20

正面図
1 - 1

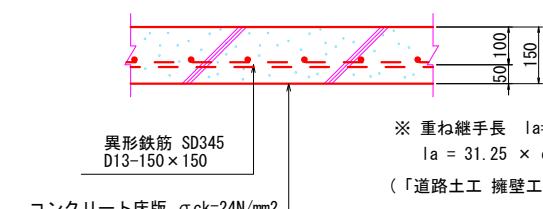


※K1フォームの継ぎ目と下面EPSの目地は、ずらして設置ください。

2 - 2



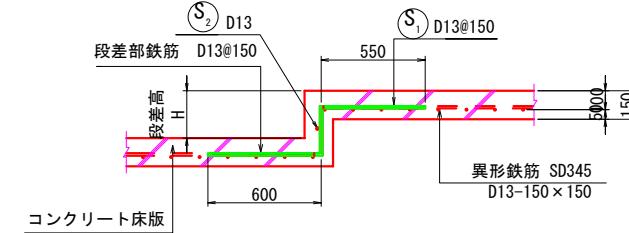
(横断方向)
床版 ($t=150$)



※ 重ね継手長 $l_a=410$ 以上
 $l_a = 31.25 \times d \times 1.3$
(「道路土工 擁壁工指針(平成24年度版)」 P. 155 参照)

コンクリート床版工 S=1:10

コンクリート床版段差部 S=1:20



段差部鉄筋加工表 (段差H=250) 段差奥行き10.0m当り

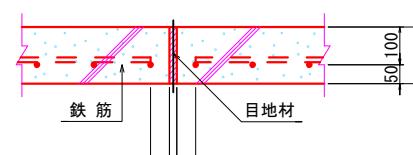
種別	形式	径	本数(本)	長さ(mm)	L1 (mm)			
					L2 (mm)	L3 (mm)	L4 (mm)	形式2
S1	1	D13	67	1400	250	550	600	
S2	2	D13	1	10000	10000			
段差部鉄筋質量表								
種別	径	長さ(mm)	本数(本)	単位質量(kg/m)	1本当たり質量(kg)	質量(kg)	摘要	
S1	D13	1400	67	0.995	1.393	93.331	—	
S2	D13	10000	1	0.995	9.950	9.950	—	
総質量 D13 103.281 kg								

※ 重ね継手長 (同一箇所) $l_a=530$ 以上

$l_a = 31.25 \times d \times 1.3$

(「道路土工 擁壁工指針(平成24年度版)」 P. 155 参照)

(縦断方向)
伸縮目地詳細図



コンクリート床版工 S=1:10

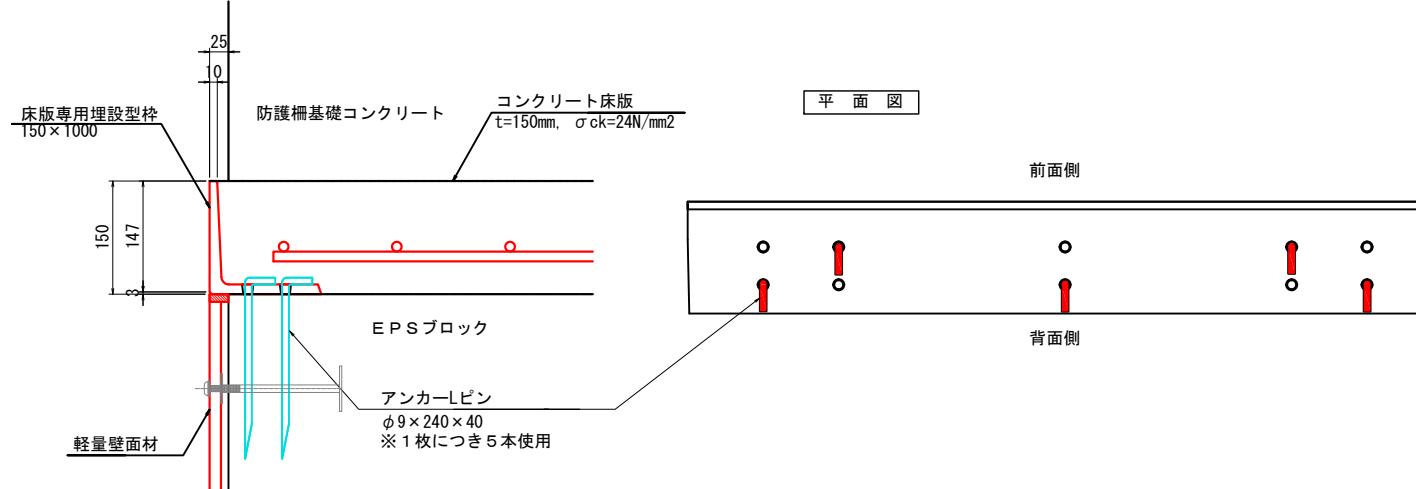
施工年度 工事番号	令和8年度 第201号
工事名	中南縦整備に伴う箇所設置工事
路線河川名	県道 横井田原木王寺線ほか
施工箇所	広陵町大字南 地内
図面種類	軽量盛土工 構造図 (2)
縮尺	図示
技師	照査 設計 製図
図面番号	135 葉中 27号
事務所名	広陵町

軽量盛土工 構造図 (3)

(床版工詳細図-2)

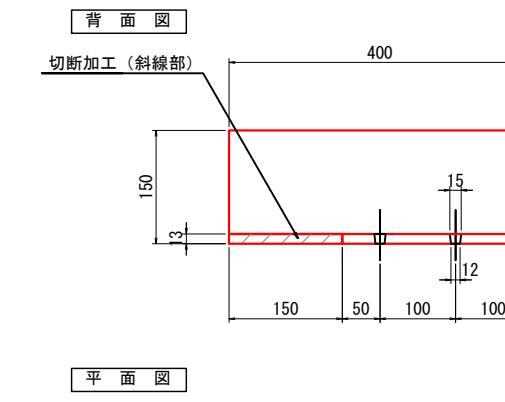
床版専用埋設型枠取付詳細図

上部床版・中間床版共通



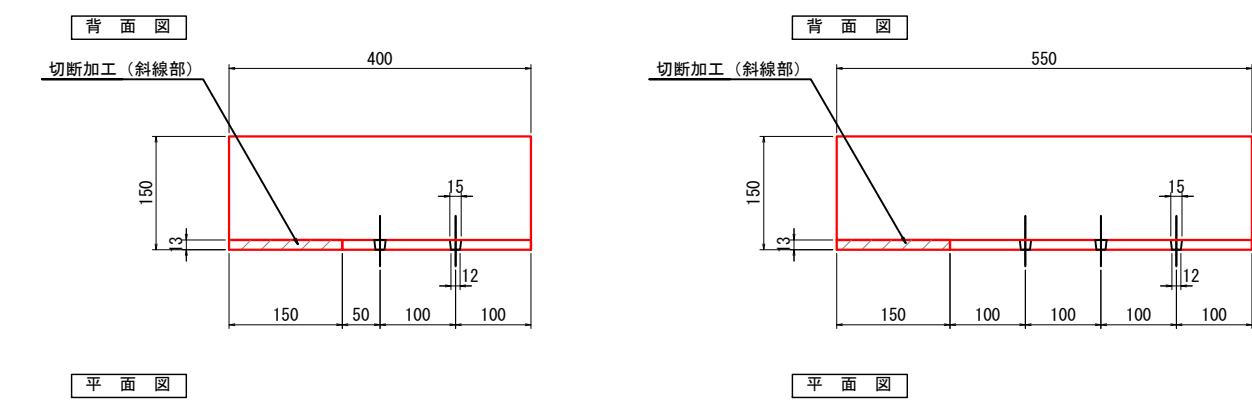
S=1:5

<段差 H=250>

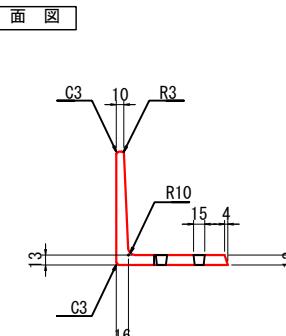
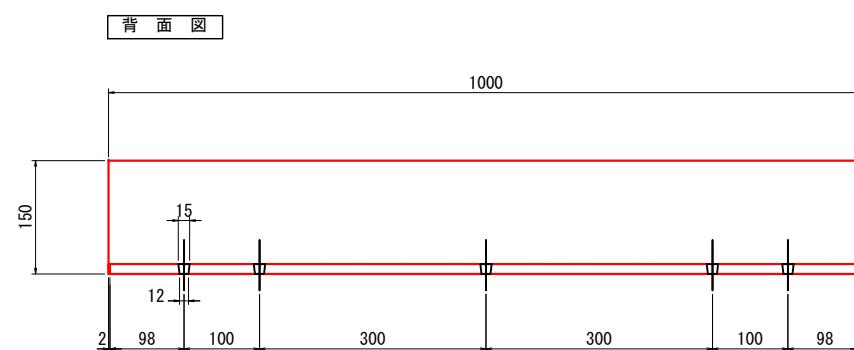


床版専用埋設型枠
<段差部>

<段差 H=400>

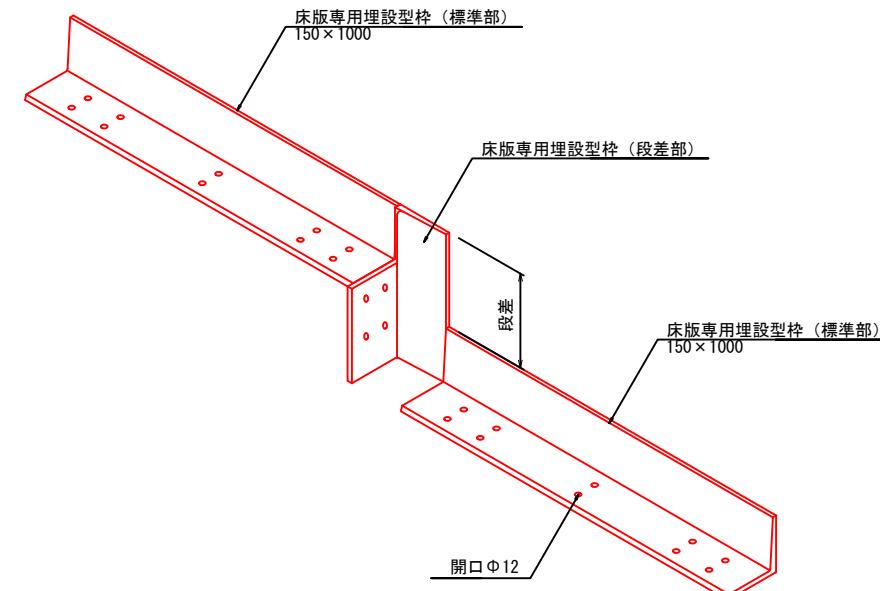


床版専用埋設型枠
<標準部>



※ 上図は、標準図であって各埋設型枠（段差部）の向きには対応していませんので、
平面図・展開図・横断図を参照の上、埋設型枠（段差部）の向きを確認してください。

床版専用埋設型枠俯瞰図

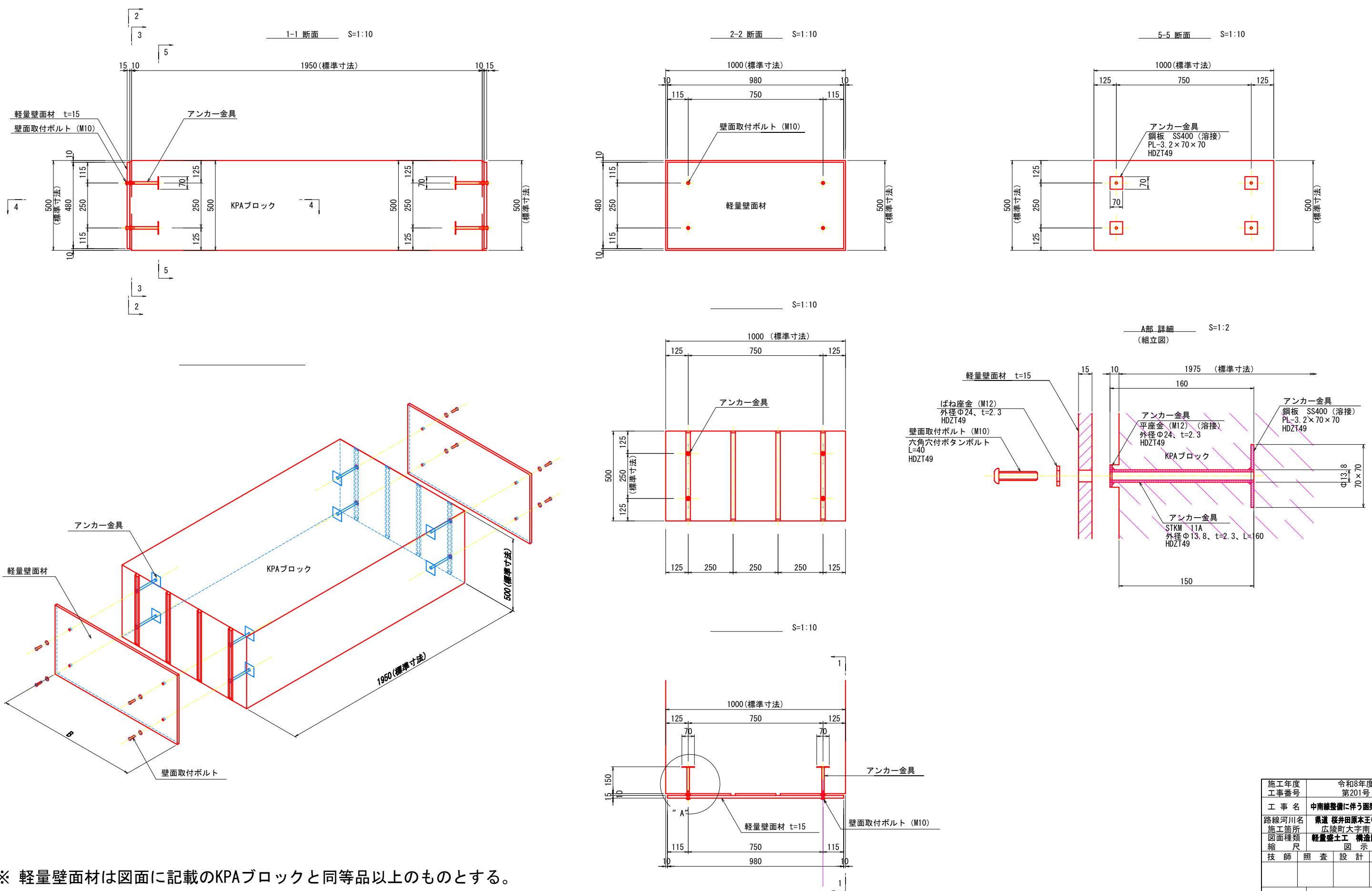


施工年度 工事番号	令和8年度 第201号
工事名	中南線整備に伴う函渠設置工事
路線河川名	県道 桜井田原本王寺線ほか
施工箇所	広陵町大字南 地内
図面種類	軽量盛土工 構造図(3)
縮尺	図示
技師	照査
設計	製図
図面番号	135 葉中 28号
事務所名	広陵町

※ 軽量壁面材は図面に記載のKPAブロックと同等品以上のものとする。

軽量盛土工 構造図 (4)

(KPAブロック標準図)

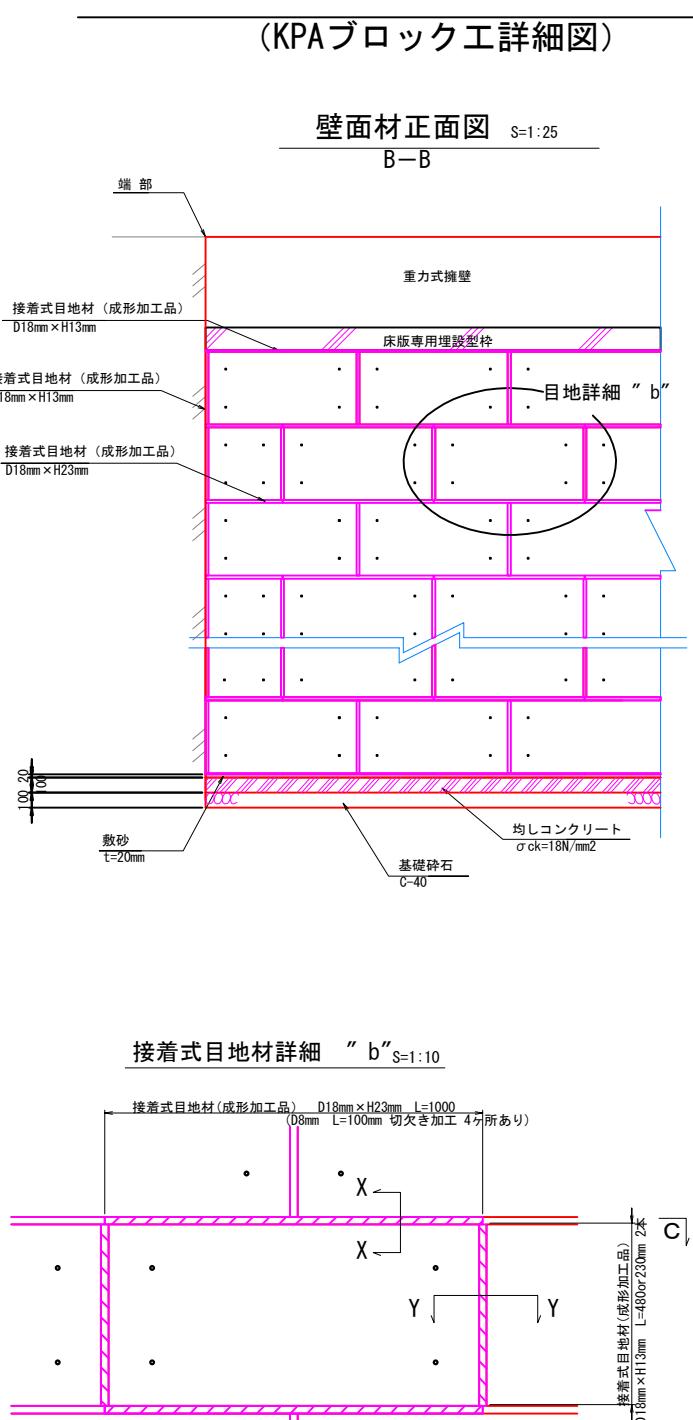
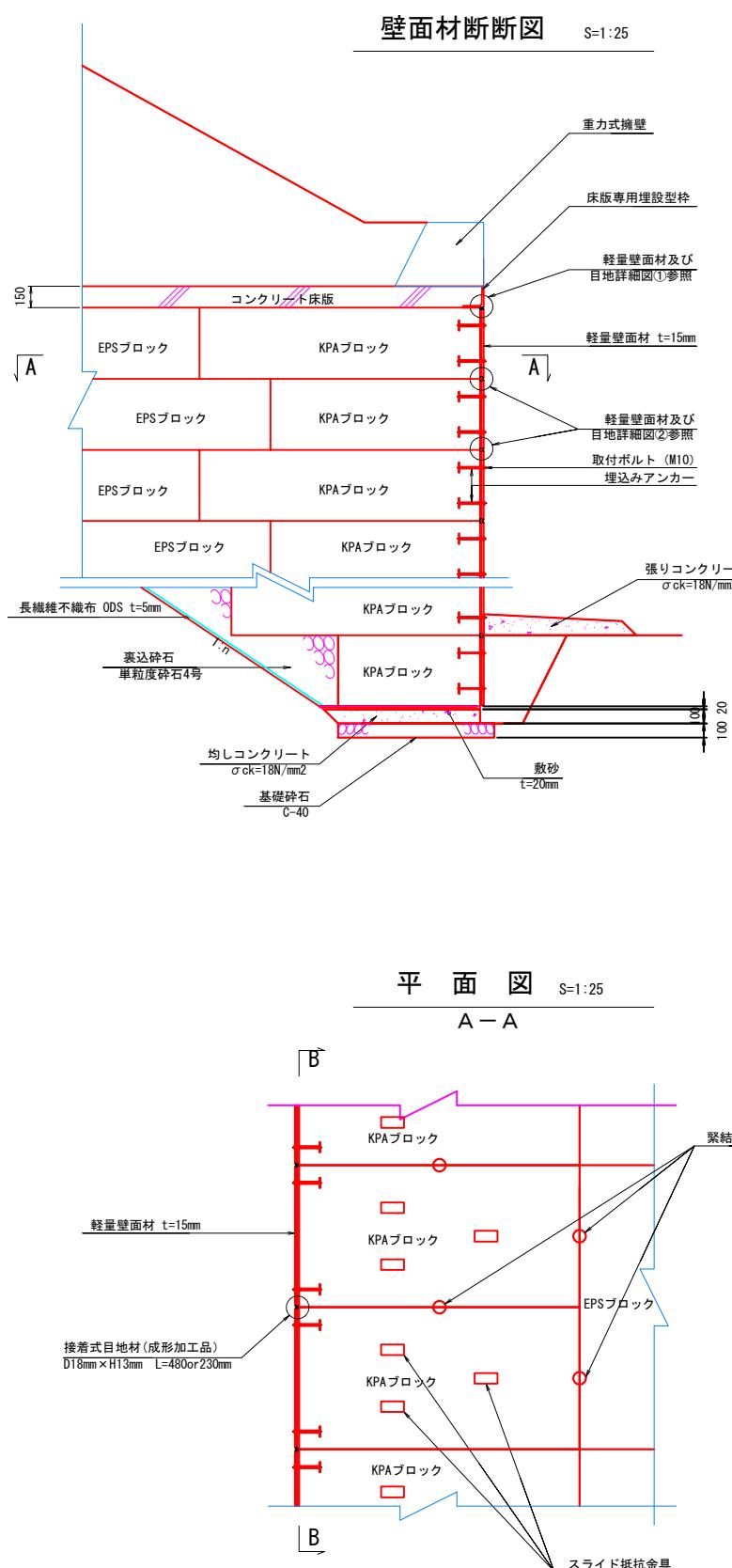


※ 軽量壁面材は図面に記載のKPAブロックと同等品以上のものとする

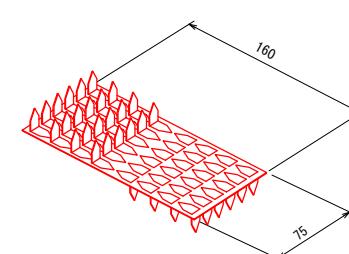
※ 標準寸法：EPSの製造における定型寸法であり、必要に応じてカット加工を行い、施工を実施して下さい。

施工年度 工事番号	令和8年度 第201号		
工事名	中南線整備に伴う函渠設置工事		
路線河川名 施工箇所	県道 桜井田原本王寺線ほか 広陵町大字南地内		
図面種類 縮尺	軽量盛土工 構造図(4) 図示		
技師	照査	設計	製図
図面番号	135 葉中 29号		
事務所名	広陵町		

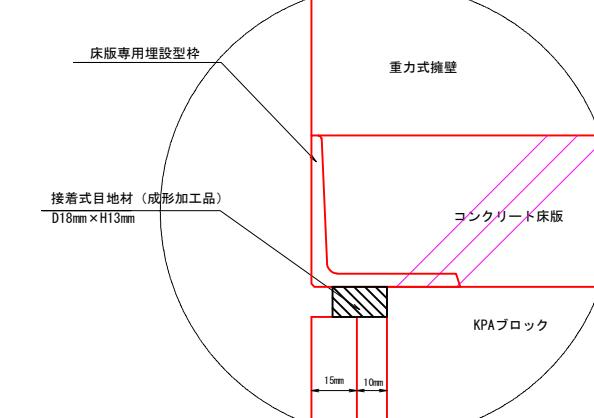
軽量盛土工 構造図 (5)



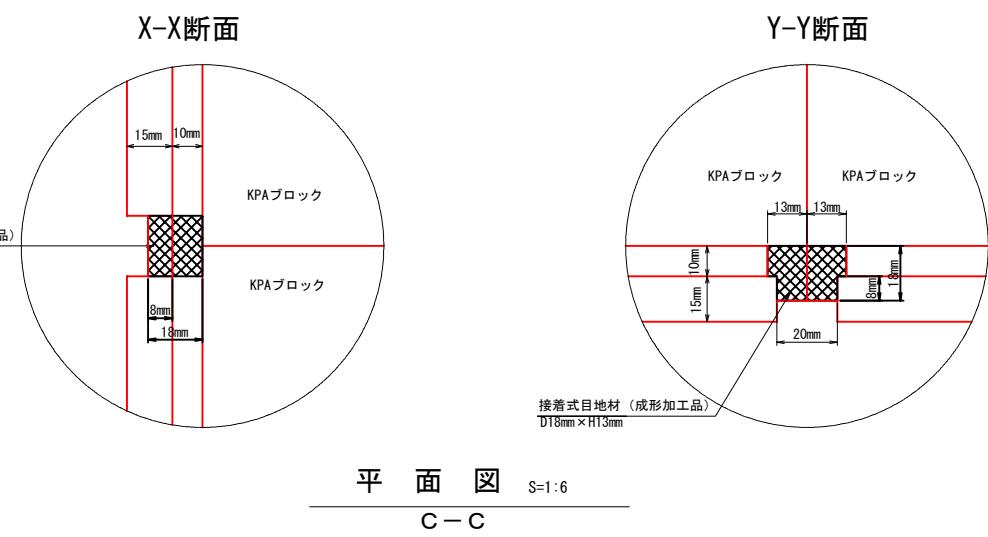
スライド抵抗金具詳細図



軽量壁面材及び目地詳細図①



軽量壁面材及び目地詳細図②



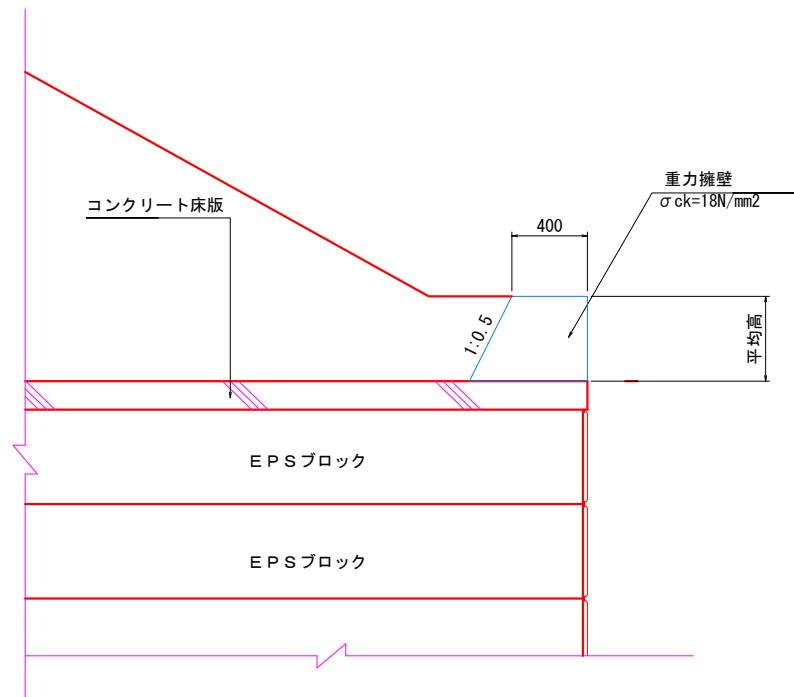
施工年度 工事番号	令和8年度 第201号
工事名	中南緯整備に伴う箇渠設置工事
路線河川名 施工箇所	県道 横井田原木王寺線ほか 広陵町大字南 地内
図面種類	軽量盛土工 構造図(5)
縮尺	図示
技師	照査 設計 製図
図面番号	135 葉中 30号
事務所名	広陵町

軽量盛土工 構造図 (6)

S=1:20

重力式擁壁

断面図



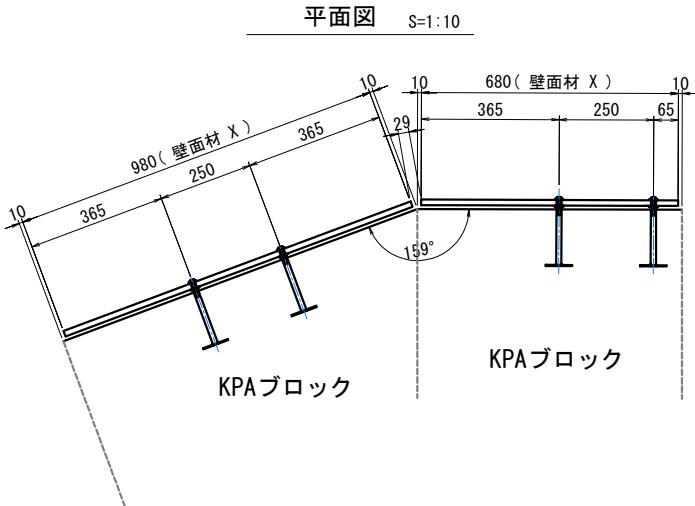
形状寸法表

		概要
重力式擁壁		
施工延長 L (m)	24.224	
展開面積 A (m ²)	11.583	展開面積は、CADより求積
平均壁高 h (m)	0.48	= 展開面積 / 施工延長
目地材 N (箇所)	3	= 10.0mに一箇所設置

施工年度 工事番号	令和8年度 第201号
工事名	中南線整備に伴う箇渠設置工事
路線河川名 施工箇所	県道 横井田原本王寺線ほか 広陵町大字南 地内
図面種類	軽量盛土工 構造図(6)
縮尺	図示
技師	照査 設計 製図
図面番号	135 葉中 31号
事務所名	広陵町

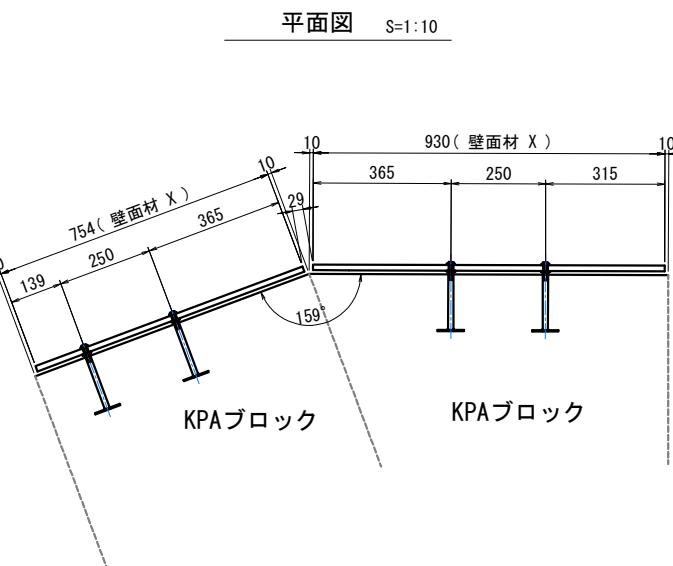
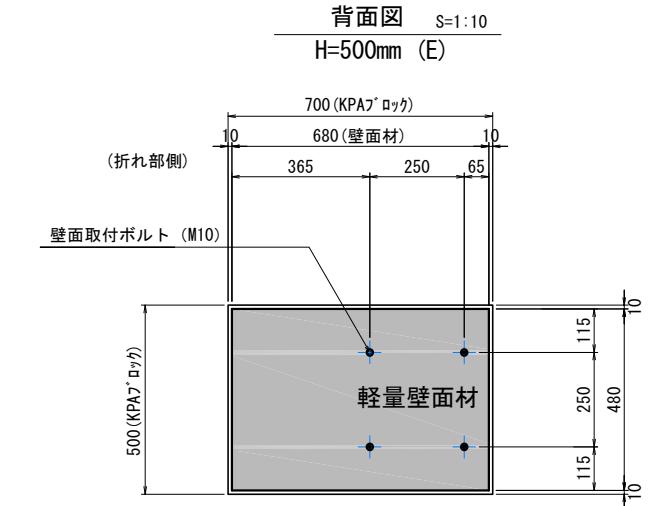
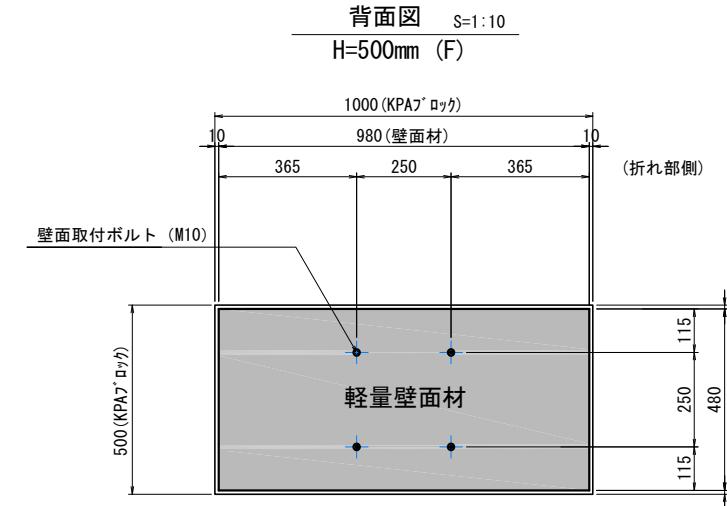
軽量盛土工 構造図 (7)

(折れ点部詳細図)



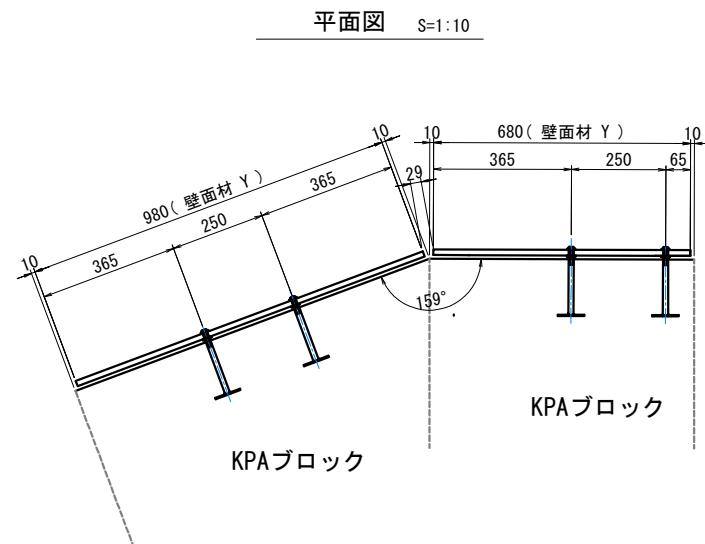
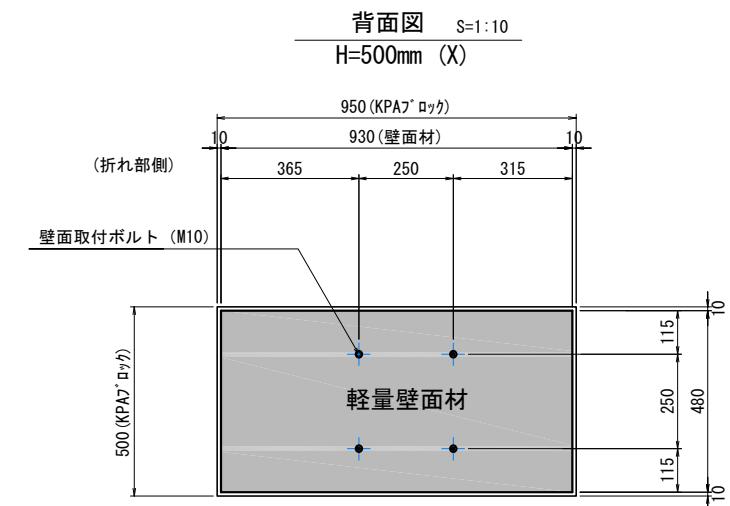
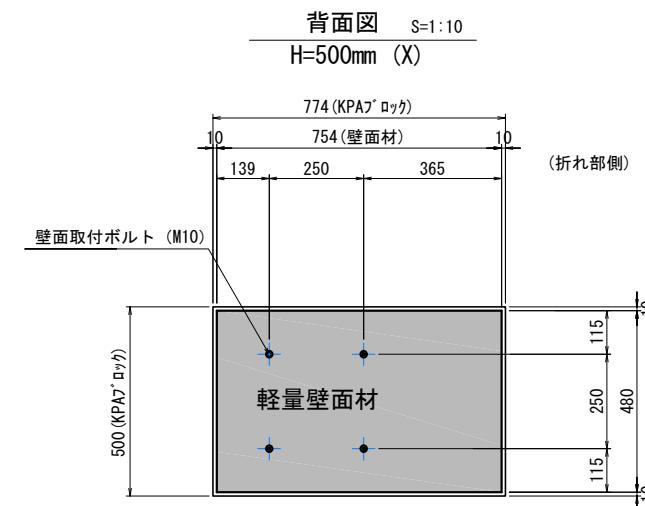
輕量壁面材 材料

名称	形状寸法	摘要
X	1000 × 500 × 15 (mm)	KPAブロック寸法
	(980 × 480 × 15 (mm))	壁面材寸法
X	700 × 500 × 15 (mm)	KPAブロック寸法
	(680 × 480 × 15 (mm))	壁面材寸法



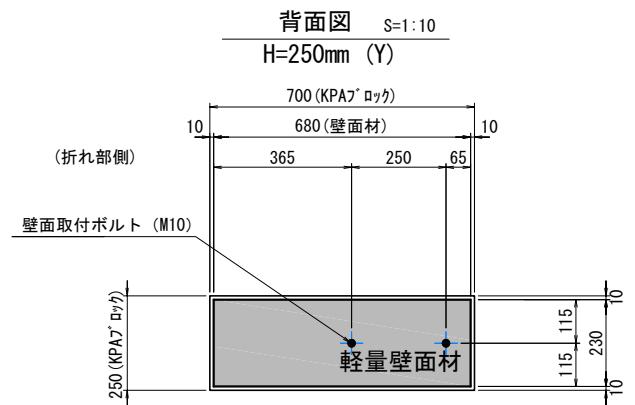
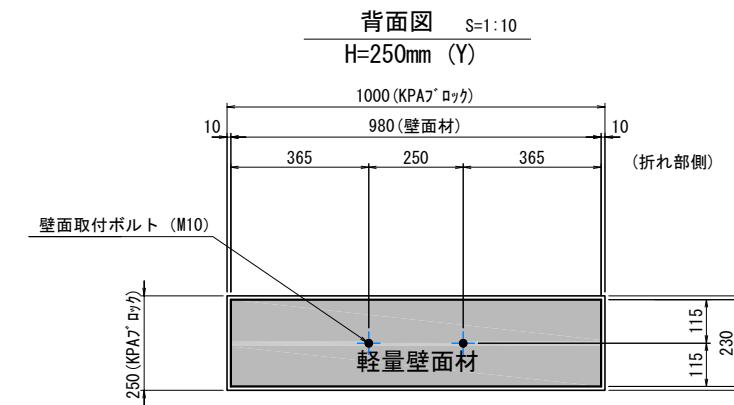
輕量壁面材 材料

名称	形状寸法	摘要
X	950 × 500 × 15 (mm)	KPAブロック寸法
	(930 × 480 × 15 (mm))	壁面材寸法
X	774 × 500 × 15 (mm)	KPAブロック寸法
	(754 × 480 × 15 (mm))	壁面材寸法



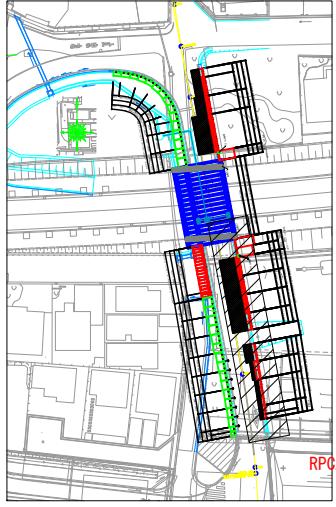
輕量壁面材 材料

名称	形状寸法	摘要
Y	700 × 250 × 15 (mm)	KPAブロック寸法
	(680 × 230 × 15 (mm))	壁面材寸法
Y	1000 × 250 × 15 (mm)	KPAブロック寸法
	(980 × 230 × 15 (mm))	壁面材寸法

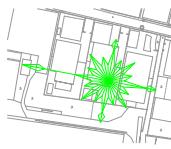


施工年度 工事番号	令和8年度 第201号		
工事名	中南線整備に伴う函樽設置工事		
路線河川名	県道 横井田原本王寺線ほか		
施工箇所	広陵町大字南地内		
面図種類 縮尺	軽量盛土工 構造図(7) 図示		
技師	照査	設計	製図
図面番号	135 葉中 32号		
事務所名	広陵町		

町道L形擁壁 割付図



KEY PLAN



平面図

S=1:10

正面展開図

S=1:10

RPCA-ロードウォールLRT
L=4000

逆L形擁壁 底版打ち継ぎタイプ L=15638

坂路 L=3000

逆L形擁壁 底版打ち継ぎタイプ L=16199

H6500 L=2000 H5500 L=2000 H3480-H L=4000 H3240-G L=4000 H3040-G L=4000 H2740-G L=3638

19638

2000 2000 2@2000=4000 2@2000=4000 2@2000=4000 1819 1819

▽47.480

3-1 3-2

6500 6500 5500 5500

3480 3240 3240 3040 3040 2740 2740

△41.754 DL=40.00

△42.080 △42.385 △42.903

△44.424 3-5 △44.437 3-9 3-10

△44.441 3-11 3-12 3-13 3-14 3-15 3-16 3-17 3-18 3-19

△44.485 道路高

△43.125 △43.506 前面水路下端

△44.050 △43.957

NO. 23-8.61 NO. 23 KA 3-2 NO. 22 NO. 21+9.95 NO. 21+6.7?

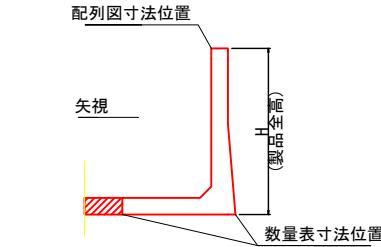
製品数量表

一式当り

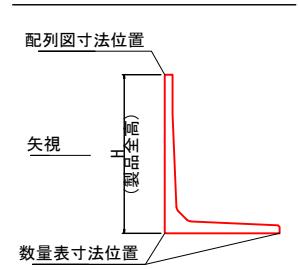
製品番号	サイズ H × L	規格	数量	参考質量	使用型枠	摘要
逆L形擁壁 底版打ち継ぎタイプ						
3-19	1120 × 1007	調整用	1 本	420 kg	B	
3-18	× 1900 1896	斜角	1 本	800 kg	B	
3-15	1520 × 1900 1897	斜角	1 本	980 kg	B	
3-16	× 1980 1897	斜角	1 本	980 kg	B	
3-17	× 1900 1896	斜角	1 本	980 kg	B	
3-13	1850 × 1900 1896	斜角	1 本	1570 kg	D	
3-14	× 1900 1896	斜角	1 本	1570 kg	D	
3-11	2170 × 1900 1897	斜角	1 本	1920 kg	E	
3-12	× 1900 1897	斜角	1 本	1920 kg	E	
3-9	2740 × 1820 1818	斜角	1 本	2880 kg	G	
3-10	× 1820 1818	斜角	1 本	2880 kg	G	
	3040 × 2000	標準	2 本	3330 kg	G	
	3240 × 2000	標準	2 本	3440 kg	G	
	3480 × 2000	標準	2 本	4260 kg	H	
RPCA-ロードウォール LRT						
3-1	6500 × 2000	標準	1 本	14240 kg		
3-2	5500 × 2000	差筋	1 本	11350 kg		D13 L=250 n=9
合計			19 本			

※製品1本につき2mmの伸びを含む

433253017-C-4-20251124



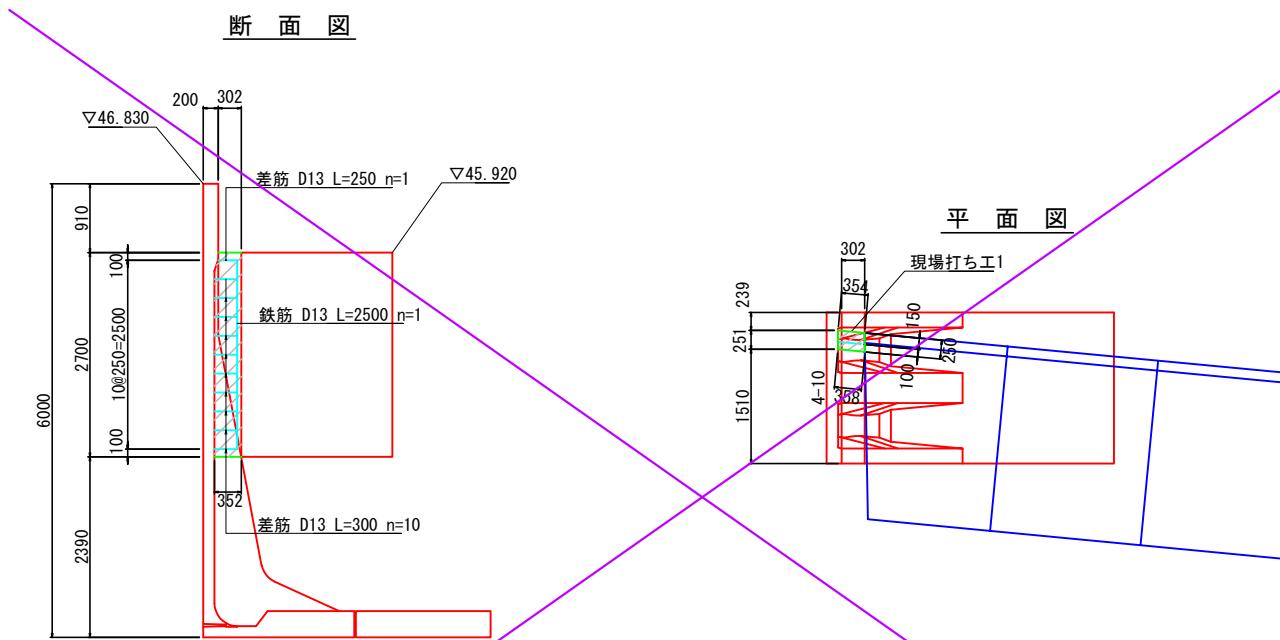
RPCA-ロードウォールLRT



施工年度 工事番号	令和8年度 第201号		
工事名	中南線整備に伴う函渠設置工事		
路線河川名	県道 桜井田原本王寺線ほか		
施工箇所	広陵町大字南 地内		
図面種類 縮尺	町道L型擁壁 割付図 図示		
技師	照査	設計	製図
図面番号	135 葉中 33号		
事務所名	広陵町		

現場打ち詳細図

S=1:50

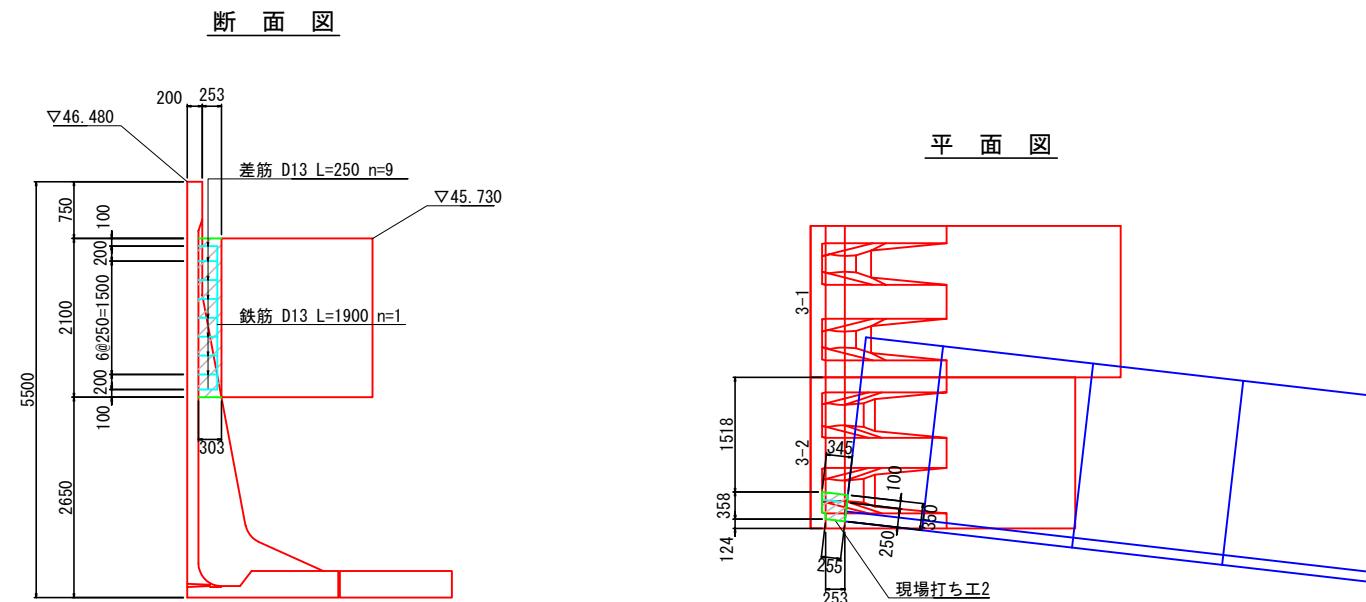


材料表(現場打ち工1)

名 称	規 格	算 式	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=24 \text{ (N/mm}^2)$	0.089×2.700	m ³	0.240
同上型枠		$(0.354+0.358+0.250) \times 2.700$	m ²	2.597
鉄筋	D13	2.500×0.995	kg	2.488

※差筋は製品付属品のため、計上していない。

一式当り



材料表(現場打ち工2)

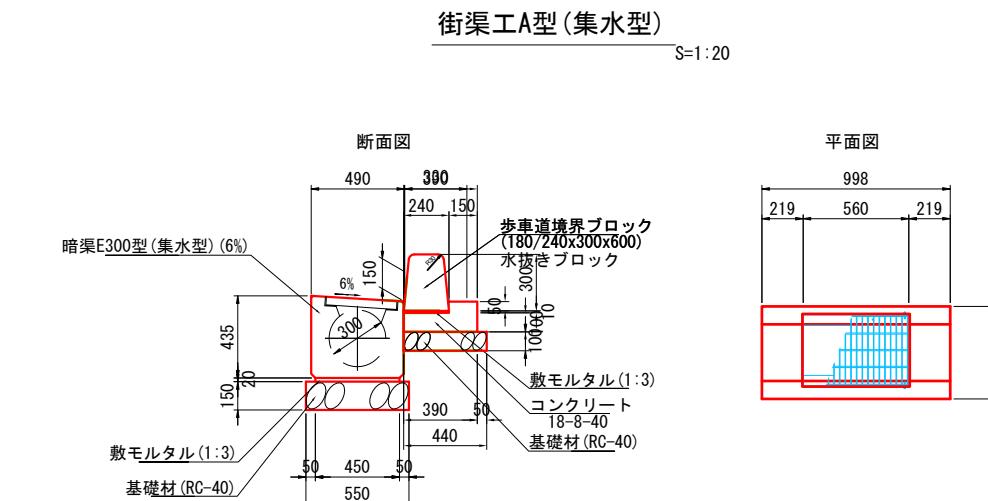
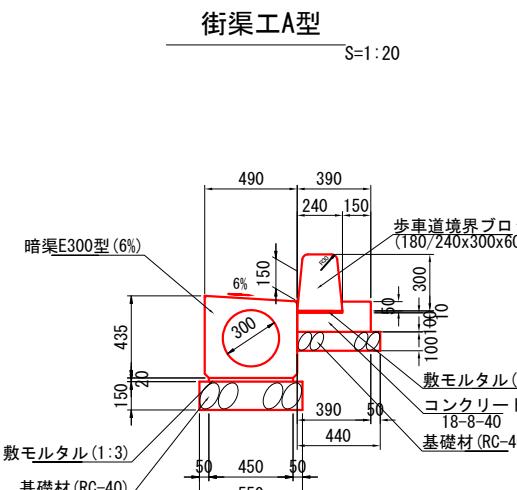
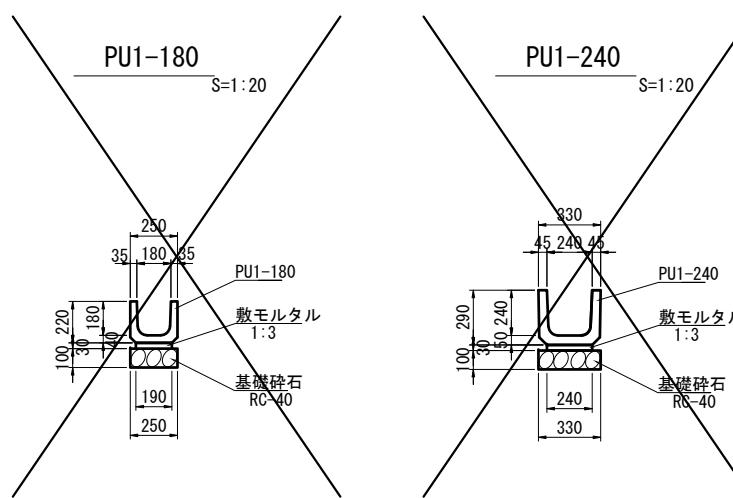
名 称	規 格	算 式	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=24 \text{ (N/mm}^2)$	0.110×2.100	m ³	0.231
同上型枠		$(0.345+0.255+0.350) \times 2.100$	m ²	1.995
鉄筋	D13	1.900×0.995	kg	1.891

※差筋は製品付属品のため、計上していない。

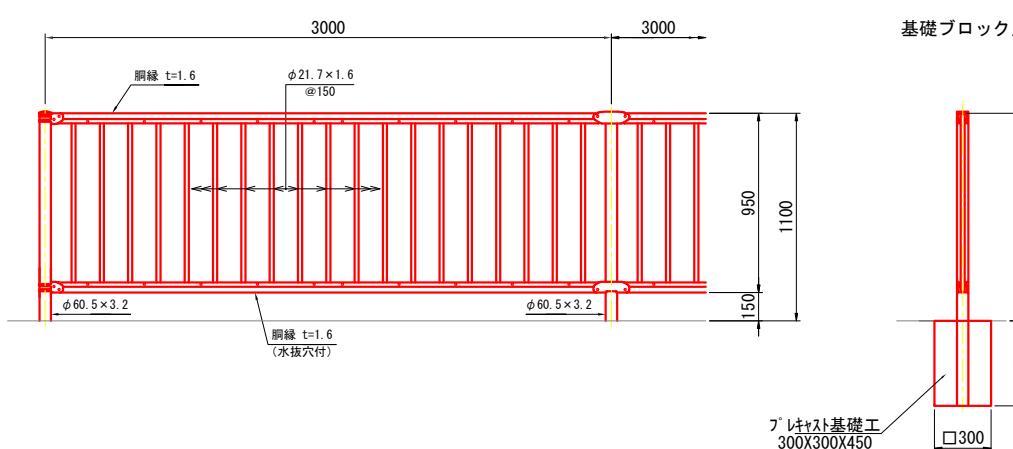
一式当り

施工年度 工事番号	令和8年度 第201号
工事名	中南縦整備に伴う箇所設置工事
路線河川名 施工箇所	県道 横井田原本王寺線ほか 広陵町大字南 地内
図面種類	現場打ち詳細図
縮 尺	図 示
技 師	照 査
	設 計
	製 図
図面番号	135 葉中 34 号
事務所名	広陵町

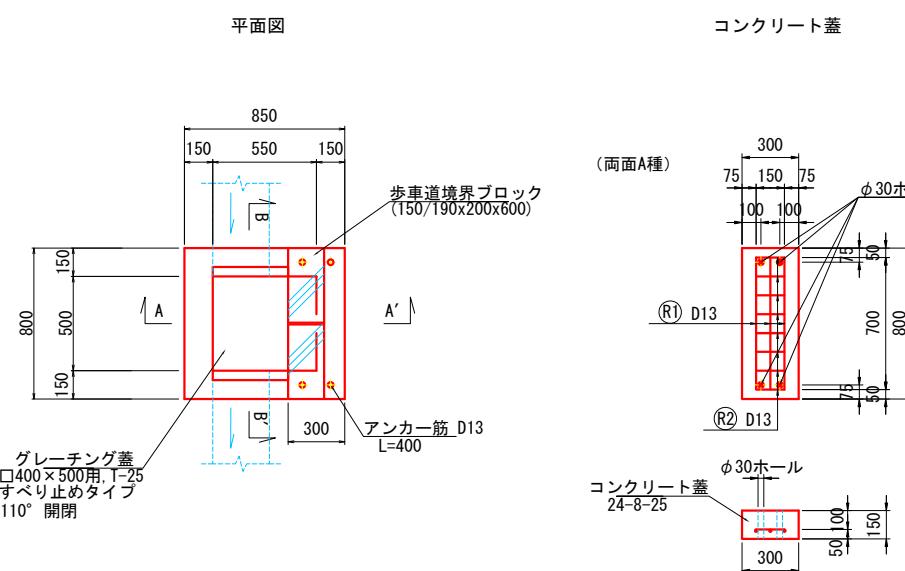
県道部構造図



転落防止柵
S=1:20

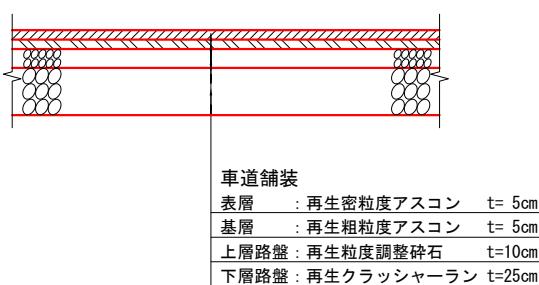


街渠樹G型
S=1:20

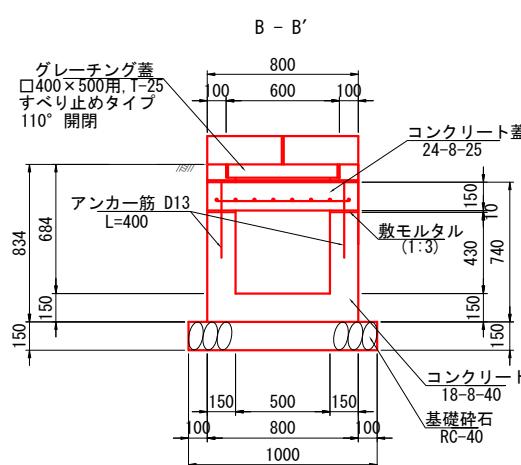
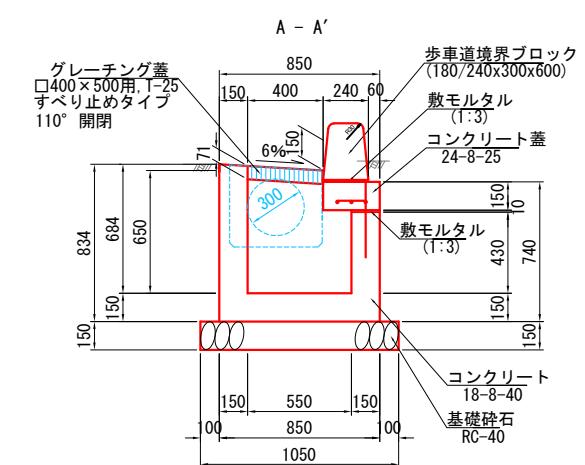
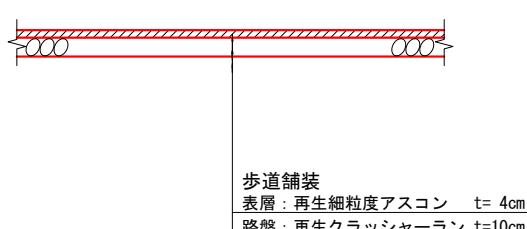


(1箇所当り) コンクリート蓋鉄筋質量表					
名称	呼び径	単位体積質量 (kg/m³)	長さ (m)	本数	延長 (m)
(R1)	D13	0.995	0.700	3	2.100
(R2)	D13	0.995	0.150	8	1.200
アンカーリング	D13	0.995	0.400	4	1.600
合計					
					4.876

アスファルト舗装
車道舗装
S=1:20



アスファルト舗装
歩道舗装
S=1:20



施工年度 工事番号	令和8年度 第201号
工事名	中南線整備に伴う函渠設置工事
路線河川名	県道 桜井田原本王寺線ほか
施工箇所	広陵町大字南地内
図面種類	県道部構造部
縮尺	図示
技師	照査 設計 製図
図面番号	135 葉中 35号
事務所名	広陵町